

## 第2 各総室の事業概要

# 保 健 総 室

( 三 戸 地 方 保 健 所 )

(18～70 ページ)

I 健康危機管理関係 (19 ページ)		
II 指導予防課関係業務 (20～37 ページ)	III 生活衛生課関係業務 (38～40 ページ)	IV 健康増進課関係業務 (41～70 ページ)
1 庶務及び企画関係	1 食品衛生関係	1 健康づくり関係
2 医療及び薬事関係	2 化製場等関係	2 精神保健福祉関係
3 感染症予防関係	3 生活衛生関係	3 母子保健関係
4 結核予防関係	4 水道及び飲料水関係	4 栄養関係
5 会議関係	5 建築物衛生関係	5 歯科保健関係
6 研修関係	6 その他の施設関係	6 難病関係
7 統計報告・調査	7 温泉関係	7 八戸地域保健・医療・ 福祉包括ケアシステム 関係
		8 会議・研修関係

# I 健康危機管理関係

食中毒、毒物・劇物、飲料水、医薬品、感染症その他何らかの原因により、県民の健康、生命の安全を脅かすおそれのある事態が発生し、又は、発生するおそれがある場合、当地域県民局では、関係法令並びに「青森県危機管理指針」、「青森県健康危機管理対策実施要綱」及び「三八地域県民局地域健康福祉部保健総室健康危機管理手引書」等に従って対応することとしており、日頃からその体制整備に努めている。

## (1) 健康危機管理手引書の改訂

組織の改正や人事異動等により、関係機関・団体連絡先や担当者の変更があったため、三八地域県民局地域健康危機管理協議会委員名簿や保健総室所内連絡体制等について整備を行い、健康危機管理手引書の改訂を行った。

## (2) 保健総室における平常時の健康危機管理体制

薬事監視、医療監視、食品監視等により、関係施設及び関連業者に対し法令の遵守、衛生管理徹底等の指導に努めるとともに、各種機会をとらえて消費者及び関連業者等に感染症、食中毒等の予防衛生講習会を行った。

また、街頭キャンペーン等により、消費者等に食中毒防止等の啓発を図った。

なお、学校及び社会福祉施設等から食中毒及び感染症の有症症状を呈する者に係る通報等があった場合は、指導予防課、生活衛生課で協力し同時に調査・原因究明にあたるとともに、感染症予防、食中毒予防並びに二次感染の防止の立場から施設や関係者の衛生指導を行った。

## (3) 新型インフルエンザ等対策

「青森県新型インフルエンザ医療確保計画（平成20年3月策定）」に基づき、三八地域における新型インフルエンザ対策の充実を図るため、地域の中核病院、医師会、管内市町村、消防、警察等の関係機関で構成する「三八地域新型インフルエンザ対策協議会」を設置（平成20年5月）。

県では新型インフルエンザ等対策を整備するため、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」の規定に基づき、平成25年11月に「新型インフルエンザ等対策青森県行動計画」を作成した。これにより県としての新型インフルエンザ等の基本的な方針が示された。

行動計画に規定する項目の中で、医療分野に関連する対策の具体的な内容、役割分担、基本的な実施手順等を示すことを目的として、平成26年10月に新型インフルエンザ等対策マニュアル「医療提供版」が作成された。

当地域では平成29年8月30日に「三八地域新型インフルエンザ対策協議会」を開催し、三八地域新型インフルエンザ医療提供体制シートについて確認した。

## (4) 高病原性鳥インフルエンザ等対策

「青森県高病原性鳥インフルエンザ対策マニュアル（平成17年1月13日策定）」に基づき、その体制整備に努めている。

平成27年7月24日に三八地域高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ対策マニュアルに係る担当者会議が開催され、平成27年8月に「三八地域高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ対策マニュアル」が一部改正された。

また、県では平成29年10月に「青森県高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ対策マニュアル【健康調査編】（第2版）」を作成した。

## (5) 災害時における保健医療体制整備

「青森県地域防災計画」に基づき、「青森県災害対策本部運営マニュアル【健康福祉部編】」を改定し、その体制整備に努めている。

当地域では、平成29年8月30日に「八戸地域災害医療対策協議会」を開催し、当協議会の体制の変更（警察署の追加）について承認され、青森県の災害医療体制について確認した。

## II 指導予防課関係業務

### 1 庶務及び企画関係

#### (1) 地域健康福祉部総室長会議・部運営会議

複数部門の業務が統合された地域健康福祉部における業務の円滑な運営を図るため、各総室の幹部職員による連絡協議の場として必要に応じ会議を開催することとしている。

##### ア 総室長会議

部長、各総室長、各総室次長を構成メンバーとして、必要に応じ開催することとしている。

##### イ 部運営会議

部長、各総室長、各総室次長、各課長等を構成メンバーとして、必要に応じ開催することとしている。

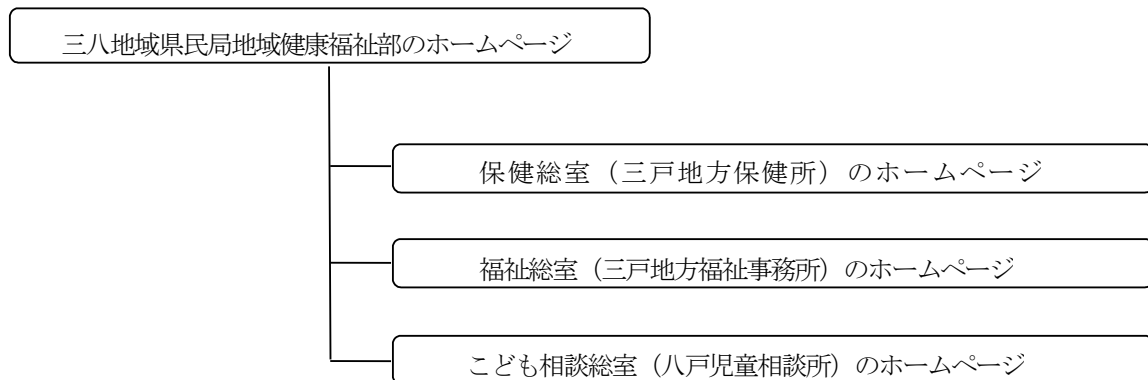
#### (2) 広報活動

三八地域県民局地域健康福祉部のホームページ

ア 内容：業務紹介、各種相談窓口・日程、関係機関リンク、所在図等

イ 部ホームページアドレス：<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/sa-kenfuku/top.html>

ウ 構成



## (3) 歳入・歳出関係

ア 一般会計

(ア) 歳入(証紙収入以外)

(単位:円)

款	目	節	細	節	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額
分担金及び負担金					10,747,495	5,021,840	0	5,725,655
民生負担金					10,747,495	5,021,840	0	5,725,655
児童福祉費					5,686,850	4,819,140	0	867,710
情緒障害児短期治療施設等措置費					900,140	733,920	0	166,220
乳児院・助産施設措置費					30,220	30,000	0	220
子ども自立センターみらい費					384,600	384,600	0	0
里親・母子生活支援施設措置費					3,451,190	2,984,420	0	466,770
知的障害児等措置費					920,700	686,200	0	234,500
過年度収入					5,060,645	202,700	0	4,857,945
知事部局					5,060,645	202,700	0	4,857,945
環境保健負担金					0	0	0	0
健康推進費					0	0	0	0
精神医療費					0	0	0	0
過年度収入					0	0	0	0
知事部局					0	0	0	0
使用料及び手数料					30,411	30,411	0	0
環境保健使用料					30,411	30,411	0	0
土地建物等					30,411	30,411	0	0
保健所					30,411	30,411	0	0
財産収入					43,200	43,200	0	0
物品売払収入					43,200	43,200	0	0
物品					43,200	43,200	0	0
知事部局					43,200	43,200	0	0
諸収入					58,748,537	21,759,323	304,668	36,684,546
延滞金					166,840	79,896	0	86,944
延滞金					117,740	71,400	0	46,340
健康福祉政策課					78,520	71,370	0	7,150
こどもみらい課					39,220	30	0	39,190
過年度収入					49,100	8,496	0	40,604
知事部局					49,100	8,496	0	40,604
雑入					58,581,697	21,679,427	304,668	36,597,602
総務費					448	448	0	0
情報公開					194	194	0	0
個人情報保護					254	254	0	0
民生費					25,833,029	18,223,275	0	7,609,754
生活保護費					25,833,029	18,223,275	0	7,609,754
過年度収入					32,660,682	3,368,446	304,668	28,987,568
知事部局					32,660,682	3,368,446	304,668	28,987,568
雑入					87,538	87,258	0	280
知事部局					87,538	87,258	0	280
計					79,688,443	36,973,574	304,668	42,410,201

## (イ) 歳入 (証紙収入)

(単位:円)

款	目	節	細	件	数	金	額
	使用料及び手数料				1,028		10,118,800
		総務手数料			23		17,250
			証明		23		17,250
			総務学事課		23		17,250
		環境保健手数料			1,005		10,101,550
			健康推進費		0		0
			受胎調節認定		0		0
			医薬費		565		3,896,400
			医療施設等許可		17		729,000
			麻薬免許		373		1,493,200
			医薬品医療機器等		175		1,674,200
			自然保護費		0		0
			温泉		0		0
			生活衛生費		440		6,205,150
			食品関係営業許可		407		5,266,150
			旅館営業許可		2		44,000
			理容所等開設検査		8		128,000
			クリーニング所開設検査		2		32,000
			建築物衛生管理業者登録		21		735,000
			化製場設置許可		0		0
			計		1,028		10,118,800

## (ウ) 歳出

(単位：円)

款	目	令 達 額	支 出 額	残 額
民生費		773,782,054	752,156,620	21,625,434
	社会福祉総務費	89,200	83,398	5,802
	福祉事務所費	2,744,254	2,554,277	189,977
	老人福祉費	1,118,000	659,845	458,155
	婦人福祉費	84,000	60,955	23,045
	障害者福祉費	69,000	65,000	4,000
	児童福祉総務費	59,000	24,850	34,150
	児童措置費	40,000,000	37,683,958	2,316,042
	児童相談所費	7,456,600	6,848,031	608,569
	ひとり親家庭等福祉費	75,000	70,515	4,485
	障害児福祉費	11,000	6,000	5,000
	生活保護総務費	4,905,000	4,679,584	225,416
	扶助費	717,171,000	699,420,207	17,750,793
環境保健費		16,154,440	14,032,337	2,122,103
	結核対策費	2,031,288	1,751,487	279,801
	予防費	2,329,680	1,835,974	493,706
	母子保健対策費	566,060	449,795	116,265
	精神保健福祉費	1,046,940	808,277	238,663
	生活習慣病対策費	404,420	382,102	22,318
	食品衛生費	858,200	793,780	64,420
	生活衛生総務費	1,106,850	986,197	120,653
	生活衛生指導費	130,000	77,112	52,888
	保健所費	5,664,380	5,365,761	298,619
	医務費	745,520	642,980	102,540
	薬務費	1,016,000	704,808	311,192
	企画調整費	230,102	223,102	7,000
	自然保護総務費	25,000	10,962	14,038
	計	789,936,494	766,188,957	23,747,537

イ 母子父子寡婦特別会計

(ア) 歳入

(単位：円)

款	目	節	細 節	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額
諸収入				31,152,174	19,609,594	0	11,542,580
	母子福祉資金貸付金収入			28,360,232	18,301,452	0	10,058,780
		現年度収入		17,480,214	16,528,829	0	951,385
			元金	17,480,214	16,528,829	0	951,385
			利子	0	0	0	0
		過年度収入		10,880,018	1,772,623	0	9,107,395
			元金	10,880,018	1,772,623	0	9,107,395
			利子	0	0	0	0
	寡婦福祉資金貸付金収入			1,424,742	986,142	0	438,600
		現年度収入		934,542	934,542	0	0
			元金	934,542	934,542	0	0
			利子	0	0	0	0
		過年度収入		490,200	51,600	0	438,600
			元金	490,200	51,600	0	438,600
			利子	0	0	0	0
	違約金及び延納利息			3,200	0	0	3,200
		過年度収入		3,200	0	0	3,200
			貸付金償還金違約金	0	0	0	0
	雑入・母子寡婦			1,364,000	322,000	0	1,042,000
		現年度収入		0	0	0	0
		過年度収入		1,364,000	322,000	0	1,042,000
	計			31,152,174	19,609,594	0	11,542,580

(イ) 歳出

(単位：円)

款	目	令 達 額	支 出 額	残 額
母子父子寡婦福祉資金		11,968,000	5,071,748	6,896,252
	指導調査費	923,000	902,223	20,777
	母子福祉資金貸付費	8,045,000	4,037,525	4,007,475
	寡婦福祉資金貸付費	500,000	0	500,000
	父子福祉資金貸付費	2,500,000	132,000	2,368,000
	計	11,968,000	5,071,748	6,896,252



## 2 医療及び薬事関係

### (1) 医療関係

病院、診療所等の許可及び届出に関する事務及び監視指導を行った。当管内には病院が27施設あるが、医療従事者の確保状況、職員の健康診断の実施状況、医療安全管理体制の整備を重点とした立入検査を実施した。なお、八戸市内の病院に対する立入検査権限は、平成29年1月1日から八戸市に移譲されている（病院の許可及び届出並びに診療所の病床に関する許可及び届出に関する事務は引き続き当所が所管）。また、診療所に対する立入検査も実施した。

#### ア 医療監視の状況

(28年度：旧八戸保健所分はH28.4.1～12.31、三戸地方保健所分はH29.1.1～3.31)

年度	29		28		27		26	
	対象施設数	実施数 実施率	対象施設数	実施数 実施率	対象施設数	実施数 実施率	対象施設数	実施数 実施率
病院	6	6	27 旧八戸保健所	13 48.1	27	27	27	27
		100.0	6 三戸地方保健所	4 66.7		100.0		100.0
一般診療所	40	14	206 旧八戸保健所	18 8.7	207	21	203	25
		35.0	40 三戸地方保健所			10.1		12.3
歯科診療所	26	7	130 旧八戸保健所	5 3.8	131	13	133	26
		26.9	28 三戸地方保健所	2 7.1		9.9		19.5
助産所	0		2 旧八戸保健所		2		2	
			0 三戸地方保健所					
施術所	61	11	272 旧八戸保健所	22 8.1	289	31	290	22
		18.0	67 三戸地方保健所	3 4.5		10.7		7.6

#### イ 医療施設等数

(平成30年4月1日現在)

区分	総数	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
病院	27	21	2	1	1		2		
病床数	4,672	4,099	138	142	167		126		
	一般	2,656	2,222	78	103	167	86		
	療養	623	484	60	39		40		
	精神	1,387	1,387						
	結核 感染	0 6	6						
診療所無床	40	中核市移行	12	3	10	4	7	3	1
診療所有床	29	28			1				
病床数	416	398			18				
歯科診療所	26	中核市移行	6	3	7	2	5	3	
助産所	0	中核市移行							
施術所	61	中核市移行	10	14	12	2	18	4	1
	あん摩、はり、きゅう	36	中核市移行	5	10	5	1	12	2
	柔道整復	25	中核市移行	5	4	7	1	6	2
歯科技工所	6	中核市移行	2		2	1		1	
衛生検査所	0	中核市移行							

(2) 薬事関係

ア 薬局の開設許可手続きの指導、医薬品販売業の許可及び毒物劇物販売業の登録に関する事務、麻薬取扱者の免許申請手続きの指導等を行った。

イ 薬事関係施設に対し、医薬品や毒物劇物、麻薬等の適正な管理・販売・使用等について監視指導を行った。

平成 29 年度は、有資格者の実地管理、毒薬等の適正な保管管理、麻薬及び向精神薬の適正な取扱い等を重点として監視指導を行った。

(ア) 薬事監視等の状況 (旧八戸保健所分は H28.4.1~12.31、三戸地方保健所分は H29.1.1~3.31)

年度		29		28		27		26	
区分		対象 施設数	実施数 実施率	対象 施設数	実施数 実施率	対象 施設数	実施数 実施率	対象 施設数	実施数 実施率
医薬品製造業		5	0	5		5		5	1 20.0
薬局製剤 製造販売業 ・製造業	旧八戸保健所			17	1 5.9	17	1 5.9	19	4 21.1
	三戸地方保健所	3	0	3					
薬局	旧八戸保健所			147	73 49.7	146	54 37.0	139	45 32.4
	三戸地方保健所	25	18 72.0	26	4 15.4				
店舗販売業	旧八戸保健所			88	18 20.5	83	30 36.1	84	14 16.7
	三戸地方保健所	25	10 40.0	24	1 4.2				
卸売販売業		42	24 57.1	41	26 63.4	42	12 28.6	42	15 35.7
既存配置販売業		10	1 10.0	10	1 10.0	13		14	
新配置販売業		1	0	1					
旧薬種商 販売業	旧八戸保健所			2		2	1 50.0	2	
	三戸地方保健所	1	0	1					
特例 販売業	旧八戸保健所			2		2	1 50.0	2	
	三戸地方保健所	0		0					
医療機器 製造販売業		1	0	1		1		1	
医療機器製造業		3		3		3		3	1 33.3
医療機器修理業		24	6 25.0	25	11 44.0	26	5 19.2	25	10 40.0
高度管理 医療機器等 販売・貸与業	旧八戸保健所			185	63 34.1	196	59 30.1	185	48 25.9
	三戸地方保健所	23	14 60.9	22	3 13.6				
再生医療等製品販売業		3		3					
管理 医療機器 販売・貸与業	旧八戸保健所			771	25 3.2	751	77 10.3	651	85 13.1
	三戸地方保健所	172	15 8.7	170					
毒物劇物製造業		4	1 25.0	4	2 50.0	4		4	1 25.0
毒物劇物 販売業	旧八戸保健所			224	90 40.2	224	61 27.2	224	55 24.6
	三戸地方保健所	60	29 48.3	66	3 4.5				
麻薬取扱施設		270	122 45.2	270	121 44.8	271	91 33.6	261	101 38.7

## (イ) 薬事関係業態数

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

店舗販売業	25	中核市移行	6	4	3	2	7	3	
卸売販売業	42			1					
既存配置販売業	7		6				1		
新配置販売業	2		2						
旧薬種商販売業	1	中核市移行						1	
特例販売業	0	中核市移行							
医療機器製造販売業	1		1						
医療機器製造業	3		2		1				
医療機器修理業	24		24						
高度管理医療機器等	23	中核市移行	5	5	5	2	6		
販売・貸与	5	中核市移行	1	2	1	1			
販売	18	中核市移行	4	3	4	1	6		
貸与	0	中核市移行							
再生医療等製品販売業	3		3						
管理医療機器 (みなし販売業等除く)	172	中核市移行	51	27	39	6	31	17	1
販売・貸与	10	中核市移行	6	2	1	0	1	0	
販売	162	中核市移行	45	25	38	6	30	17	1
貸与	0	中核市移行							
毒物劇物製造業	4		4						
毒物劇物販売業	60	中核市移行	13	12	13	4	11	3	4
一般	11	中核市移行	1	6	2			1	1
農業用品目	49	中核市移行	12	6	11	4	11	2	3
特定品目	0	中核市移行							
麻薬取扱施設	270		222	15	5	8	4	11	5
麻薬卸売業	7		7						
麻薬小売業	142		118	8	3	5	2	5	1
麻薬診療施設	121		97	7	2	3	2	6	4

(3) 不正大麻及び不正けしの除去

大麻及びけしに係る事犯の発生防止のため、関係機関の協力を得ながら、不正大麻及び不正けしの発見に努め、発見した大麻及びけしの除去を行った。

不正大麻については、調査除去延べ172箇所 で95,710本を除去した。不正けしについては、調査除去延べ10箇所 で432本を除去した。

不正大麻及び不正けしの除去

ア 不正大麻除去本数

区分		年度	H25	H26	H27	H28	H29
管内	調査除去延箇所数		167	156	173	159	172
	本数		133,270	50,900	312,878	77,749	95,710
県	調査除去延箇所数		202	180	192	178	200
	本数		288,329	77,357	373,622	117,122	106,523

イ 不正けし除去本数

区分		年度	H25	H26	H27	H28	H29
管内	調査除去延箇所数		59	10	30	32	10
	本数		9,833	700	793	834	432
県	調査除去延箇所数		354	241	339	339	225
	本数		24,615	8,460	18,930	8,319	5,319

(4) 研修会及び衛生教育

青森県薬物乱用防止指導員八戸地区協議会1回、薬物乱用防止指導員研修会1回を実施した。

(5) 献血状況

市町村等関係機関と連携し、住民への献血思想の普及啓発等、献血推進事業を行った。

平成29年度の各市町村における献血状況は、一般献血では200mlで1,732人、400mlで31,806人の協力により献血がなされた。

### 3 感染症予防関係

#### (1) エイズ予防関係

エイズ及び性感染症の予防及び蔓延の防止を図るため、正しい知識の普及や来所相談・検査及び電話相談を実施している。

平成 29 年 1 月より HIV 即日検査を実施している。HIV 即日検査のほか、希望者には同時に性器クラミジア抗体検査及び梅毒血清検査を実施している。

エイズ予防関係

(件)

年 度	採 血 件 数			相 談 件 数			相 談 内 訳					
	計	男	女	計	男	女	電 話			来 所		
							計	男	女	計	男	女
25	104	53	51	46	26	20	39	20	19	7	6	1
26	109	60	49	9	6	3	9	6	3	0	0	0
27	57	33	24	1	1	0	1	1	0	0	0	0
28	61	39	22	6	3	3	5	3	2	1	0	1
29	36	24	12	16	13	3	14	12	2	2	1	1

#### (2) ウイルス性肝炎相談・検査

平成 19 年度から事業開始され、B 型肝炎・C 型肝炎について、不安を持つ人に対する相談や検査(平成 23 年度から無料)を実施している。

ウイルス性肝炎相談・検査関係

(件)

年 度	採 血 件 数			相 談 件 数			相 談 内 訳					
	計	男	女	計	男	女	電 話			来 所		
							計	男	女	計	男	女
25	19	10	9	16	9	7	7	3	4	9	6	3
26	23	12	11	40	12	28	40	12	28	0	0	0
27	4	0	4	4	0	4	1	0	1	0	0	0
28	20	12	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### (3) 肝炎治療特別推進事業

平成 20 年度から B 型及び C 型ウイルス性肝炎の治療を進めるため、ウイルスの除去を目的に行うインターフェロン治療に要する医療費の一部助成制度が開始された。平成 22 年度からは核酸アナログ製剤治療、平成 26 年度からはインターフェロンフリー治療が助成対象に追加され、保健所が申請受理窓口を行っている。

肝炎治療受給者証交付状況

(件)

年 度	インターフェロン治療			インターフェロンフリー治療		核酸アナログ製剤治療		
	慢性肝炎 (B 型)	慢性肝炎 (C 型)	代償性肝硬変 (C 型)	慢性肝炎 (C 型)	代償性肝硬変 (C 型)	慢性肝炎 (B 型)	代謝性肝硬変 (B 型)	非代償性肝硬変 (B 型)
25	2	28	1					
26	0	30	3	30	17			
27	0	0	0	121	21			
28	0	0	0	78	13	25	3	1
29	0	0	0	42	12	23	4	0

年 度	核 酸 ア ナ ロ グ 製 剤 治 療 (更 新)		
	慢性肝炎 (B 型)	代償性肝硬変 (B 型)	非代償性肝硬変 (B 型)
25	109	25	2
26	148	29	2
27	171	24	21
28	157	26	0
29	177	28	4

(4) 感染症発生状況

感染症発生状況（全数報告疾患）（各年1月1日～12月31日）

ア 1類感染症 これまで発生なし。

イ 2類感染症 (件)

年次	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ
25		81				
26		131				
27		86				
28		81				
29		15				

ウ 3類感染症 (件)

年次	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症			腸チフス	パラチフス
			O・26	O・157	その他		
25			7	9	2(O91・O103)		
26				3			
27				5			
28		1		81	2(O111)		
29				6			

エ 4類感染症 \*<sub>1</sub> (件)

年次	A型肝炎	オウム病	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	E型肝炎
25			5		3	1
26	2		4		1	1
27						
28	3		3		1	
29			4		1	1

オ 5類感染症 \*<sub>1</sub> (件)

年次	アメーバ赤痢	クワイフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	梅毒	破傷風
25	2		1		1	
26	4				2	1
27	3	3			1	2
28	1	1	1		2	12
29						

年次	麻しん	急性脳炎	ウイルス性肝炎	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	ジアルジア症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
25	1	1				
26		3			1	2
27		1				6
28						4
29						

年次	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	播種性クリプトコックス		
27	1	7	1	1		
28		2				
29						

\* 報告があった疾患のみ記載

(5) 感染症発生動向調査状況

ア 週報告：管内医療機関定点（インフルエンザ2（小児科2）、小児科2）

(件)

疾 患 名	報 告 件 数	疾 患 名	報 告 件 数
インフルエンザ	347	ヘルパンギーナ	2
RS ウイルス	8	流行性耳下腺炎	1
咽頭結膜熱	8		
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25		
感染性胃腸炎	9		
水痘	41		
手足口病	59		
伝染性紅斑			
突発性発疹	3		
百日咳			

(第1週～第52週/平成29年12月末)

(6) 感染症予防普及啓発活動

年次	実施年月日	内 容	対 象 者	参加者数
28	H28.7.11	保育園における感染症対策	保育士	11
	H28.11.7	施設における感染症対策	施設職員	80
29	実 施 な し			

## 4 結核予防関係

当管内の結核の現状は、新規登録患者及び罹患率はやや減少してきている。最近の傾向としては、高齢者の発病、病院、施設等の事例、そして発見の遅れが目立ってきている。

このことから、医療機関を含む関係団体に結核の正しい理解と予防の強化を求めている。

### (1) 結核患者登録状況

平成 29 年の管内の状況は、全登録患者は 17 人、新登録患者は 9 人（潜在性結核感染症除く。）でした。新登録患者のうち 60 歳以上が 7 人（77.8%）と高年齢層に集中した。

#### ア 年末全登録者数

（平成 29 年 12 月 31 日現在）

年齢階級	（平成 29 年 12 月 31 日現在）										
	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	総数
市町村											
おいらせ町								2		1	3
三戸町					2		1				3
五戸町						1		1		2	4
田子町										2	2
南部町										3	3
階上町										2	2
新郷村											
平成 29 年計					2	1	1	3		10	17
平成 28 年計					4	6	6	13	7	45	81
平成 27 年計				1	4	6	7	8	11	52	89

#### イ 年末全登録者の活動性分類

（平成 29 年 12 月 31 日現在）

	総数	性別		活動性結核						不活動性結核	活動性不明	潜在性結核(別掲)	非結核性抗酸菌陽性(別掲)
				肺結核活動性			肺外結核活動性						
		男	女	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 その他の結核菌陽性	登録時 菌陰性 ・ その他					
				総数	初回治療	再治療							
おいらせ町	3	2	1							3		5	
三戸町	3	2	1	1	1					1	1		
五戸町	4	4							1	3		6	
田子町	2	1	1	1	1					1		1	
南部町	3	2	1							2	1	1	
階上町	2	1	1						1	1		9	
新郷村												1	
平成 29 年計	17	12	5	2	2				2	11	2	23	
平成 28 年計	81	43	38	7	7			9	2	8	53	2	151
平成 27 年計	89	46	43	12	5	1		5	2	7		177	



ウ 新登録者数

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

市町村	年齢階級										総数
	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
おいらせ町					(1)					1	1 (1)
三戸町							1			2	3
五戸町						1 (1)			(1)	1 (1)	2 (3)
田子町										1	1
南部町										1	1
階上町								(2)		1	1 (2)
新郷村											
平成29年計					(2)	1 (1)	1	(2)	(1)	7 (1)	9 (6)
平成28年計					2 (5)	1 (5)	2 (8)	5 (9)	4 (6)	29 (5)	43 (38)
平成27年計				(1)	1 (3)	3 (6)	2 (8)	5 (7)	4 (10)	25 (13)	40 (48)

※ 潜在性結核感染症は( )内に別掲

エ 新登録者の活動性分類

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	総数	性別		活 動 性 結 核						潜在性 結核 (別掲)	非結核 性抗酸 菌陽性 (別掲)
				肺 結 核 活 動 性			性				
		男	女	登録時 喀痰塗抹 陽性 総数	初回 治療	再治療	その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他	肺外結核 活動性		
おいらせ町	1		1	1	1					1	
三戸町	3	2	1	2	2			1			
五戸町	2	2		1	1				1	3	
田子町	1		1	1	1						
南部町	1	1							1		
階上町	1		1						1	2	
新郷村											
平成29年計	9	5	4	5	5			1	3	6	
平成28年計	43	25	18	20	19	1	9	2	12	38	
平成27年計	40	21	19	11	8	3	12	3	14	48	

## (2) 接触者健診等

二次感染防止対策として、接触者健診（委託検診を含む）及び管理健診、新登録患者並びに在宅療養者への来所及び訪問等による支援を実施した。

喀痰塗抹陽性患者及び家族への対応状況（登録 14 日以内）は 100%である。

接触者健診受診勧奨、受療の勧奨、服薬等指導、家族への感染防止指導を実施した。

### ア 接触者健診（委託検診を含む）及び管理検診実施状況 (件)

区分	年次	接 触 者		管 理 検 診
		家 族	そ の 他	
ツ 反	27			
	28			
	29			
QFT	27	117	412	
	28	67	290	
	29	42	141	
X 線 (直 接)	27	61	207	190
	28	35	98	102
	29	9	29	72
被 発 見 (潜在性を含む)	27	15	30	
	28	6	17	
	29	4	1	

### イ 訪問指導等実施状況 (件)

地域 DOTS			
方法	自宅等訪問	来所	連絡
実	8	8	7
延	29	21	17

病院訪問（新規登録患者面接等）			
用務	新規調査	新規以外 (院内面接)	退 院 DOTS
実	7	4	2
延	7	5	2

## (3) 結核対策特別促進事業実施状況

### ア 特別対策事業

#### (ア) 地域型 DOTS 推進事業

##### a 退院 DOTS カンファレンス

患者が退院後も服薬を継続し治療完遂するために、退院時、医師・薬剤師・看護師等の関係者とカンファレンス（盛岡病院 2 事例）を実施した。

##### b 訪問 DOTS 等

喀痰塗抹陽性患者や服薬中断リスクの高い患者に対し、服薬中断を防ぎ治療終了に導くために、家庭訪問等継続した服薬支援を行った。

### イ 一般対策事業

(ア) 結核予防技術者地区別講習会、結核予防業務検討会に参加した。

(イ) 一般住民向けの普及啓発事業

老人福祉施設関係者等へ結核の予防や接触者健診の必要性について医師、保健師が講話をした。

(計 2 回 80 名に対して実施)

## 5 会議関係

### (1) 八戸地域保健医療推進協議会・部会開催状況

地域保健医療推進協議会は、保健医療提供体制の充実を図るため、医療法に基づき二次保健医療圏ごとに設置している。圏域の医療・健康課題・今後の取り組み等について協議することにより、保健医療計画の効果的な推進を図っている。平成29年度は、医療対策部会、保健対策部会と合同で2回開催した。

#### 八戸地域保健医療推進協議会・部会開催状況

日 時	H29.9.27 13:30~15:00
場 所	きざん八戸1階 グラーツァ
参加人員	41人
内 容	(1) 青森県保健医療計画の見直しについて (2) 八戸圏域における重点的な取り組み事項について (3) 健康あおもり21八戸圏域版(第2次)について
日 時	H30.2.14 13:30~15:00
場 所	きざん八戸1階 グラーツァ
参加人員	39人
内 容	(1) 青森県保健医療計画案について (2) 八戸圏域における重点的な取り組み事項について (3) その他

### (2) 八戸地域災害医療対策協議会

災害時において関係機関が連携して地域医療を確保するため、平成26年度より協議会を設置している。

#### 八戸地域災害医療対策協議会開催状況

日 時	H29.8.30 14:45~16:00
場 所	きざん八戸1階 グラーツァ
参加人員	29人
内 容	(1) 青森県の災害医療体制について (2) 八戸地域災害医療対策協議会の体制について

### (3) 三八地域新型インフルエンザ対策協議会

地域新型インフルエンザ対策協議会は、新型インフルエンザ対策の充実を図るため、二次保健医療圏ごとに設置している。圏域の医療提供体制、医療確保シートの策定、その他新型インフルエンザ対策の充実に関することについて、検討・協議を行っている。

#### 三八地域新型インフルエンザ対策協議会開催状況

日 時	H29.8.30 13:30~14:30
場 所	きざん八戸1階 グラーツァ
参加人員	26人
内 容	(1) 新型インフルエンザに係る三八地域における医療提供体制について (2) 新型インフルエンザ対策について

## 6 研修関係

### (1) 医師臨床研修に係る地域保健研修

地域における保健・医療・福祉の包括的提供体制を理解し、公衆衛生活動、地域保健・福祉活動における臨床医としての果たすべき役割及び連携について理解を深めることを目的に、地域保健研修を実施している。

平成29年度は、八戸市立市民病院の研修医1名が5月、6月に、自衛隊三沢病院の研修医2名が7月、2月に、獨協医科大学医学部学生1名が9月に、それぞれ5日間の地域保健研修を実施した。

### (2) 地域保健関係者研修

多様化・高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域で安心して生活できるよう、その支援者である地域保健関係者が、健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点に立った保健福祉サービス提供できるよう、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携を強化することを目的に開催した。

#### 地域保健関係者研修実施状況

回数	日時	研修内容、テーマ・講師等	対象者	継続
1	H29.9.7	母子保健ネットワーク会議 ①講義及び演習「乳幼児の運動発達について」 県立はまなす医療療育センター園長 盛島 利文 ②意見交換「運動発達遅滞児に関わる地域連携」 県立はまなす医療療育センター 看護部長代理 川向 幸子 ③施設見学 ④意見交換「療育の実際と連携の在り方について」	八戸市及び保健所管内町村初任期保健師、東地方・弘前・五所川原・上十三・むつ保健所管内初任期等保健師、保健所職員	20
2	H29.8.23 H29.8.31 H30.2.21 H30.2.27	大規模災害発生時の対応について 三戸地方保健所 保健医長 矢野 亮佑	保健所職員	57
3	H30.1.31	リーダー等保健師連絡会議 ①情報交換及び意見交換 ・人材育成について ・子育て世代包括支援センターについて ②情報提供 ・「大規模災害発生時の県健康福祉部の体制見直しについて」 青森県健康福祉部健康福祉政策課 主査 成家 昌治	八戸市、管内町村リーダー保健師、保健所保健師	21
4	H30.3.8	災害対策研修 ①演習「避難所運営ゲーム」(HUG) ②講義「大規模災害における保健医療衛生支援(入門)と最近の動向」 ③情報交換・意見交換「平時における災害への備え」 三戸地方保健所 保健医長 矢野 亮佑	八戸市、管内町村保健師、保健所保健師	16

## 7 統計報告・調査

### (1) 月報

#### ア 人口動態調査

出生、死亡、婚姻、離婚、死産について審査・報告を実施した。(下記は青森県保健統計年報より)

#### (ア) 人口

管内の平成 28 年推計人口は、320,773 人で前年 (325,856 人) より 5,083 人減少している。

#### (イ) 出生

管内の平成 28 年の出生は、2,314 人、出生率 (人口千対) は 7.2 で、前年より 0.2 ポイント上がっているが、近年の出生率は徐々に低下傾向にある。

#### (ウ) 死亡

管内の平成 28 年の死亡は 3,990 人、死亡率 (人口千対) は、12.4 で、前より 0.6 ポイント上がっている。死因別にみると多い順に 1 位悪性新生物 1,086 人、2 位心疾患 551 人、3 位脳血管疾患 416 人、悪性新生物の部位別では多い順に 1 位気管、気管支及び肺、2 位胃、3 位膵となっている。

#### (エ) 乳児死亡

管内の平成 28 年の乳児死亡は 1 人、乳児死亡率(出生千対)は 0.4 である。

#### (オ) 死産

管内の平成 28 年の死産は 47 人で、死産率(出産千対)は 19.9 である。

#### (カ) 周産期死亡

管内の平成 28 年の周産期死亡は 3 人で、周産期死亡率 (出生千対) は 1.3 である。

#### (キ) 婚姻及び離婚

管内の平成 28 年の婚姻は 1,352 件で前年より 64 件減少している。また、離婚数は 579 件で、前年より 17 件減少している。

#### イ 病院報告 (患者票)

管内町村 6 つの病院における患者の利用状況について調査を実施した。

#### ウ 医療施設動態調査

医療法に基づき開設・廃止・変更等の届出の受理又は処分をした医療施設について調査を実施した。

### (2) 年報・年度報

#### ア 衛生行政報告例

給食施設、食品衛生、乳肉衛生、薬局、不妊手術、人工妊娠中絶、特定疾患 (難病)

#### イ 地域保健・健康増進事業報告

8 市町村及び保健所

#### ウ 医療施設静態調査

管内町村 病院 6 施設、一般診療所 40 施設、歯科診療所 27 施設の計 73 施設

### (3) 各調査報告

#### ア 国民生活基礎調査 おいらせ町の 1 地区が調査対象となった。

調査票提出数

世帯票	
世帯用	世帯員用
42	44

#### イ 2017 年社会保障・人口問題基本調査「生活と支え合いに関する調査」

おいらせ町の 1 地区が調査対象となり、22 世帯を調査した。

### Ⅲ 生活衛生課関係業務

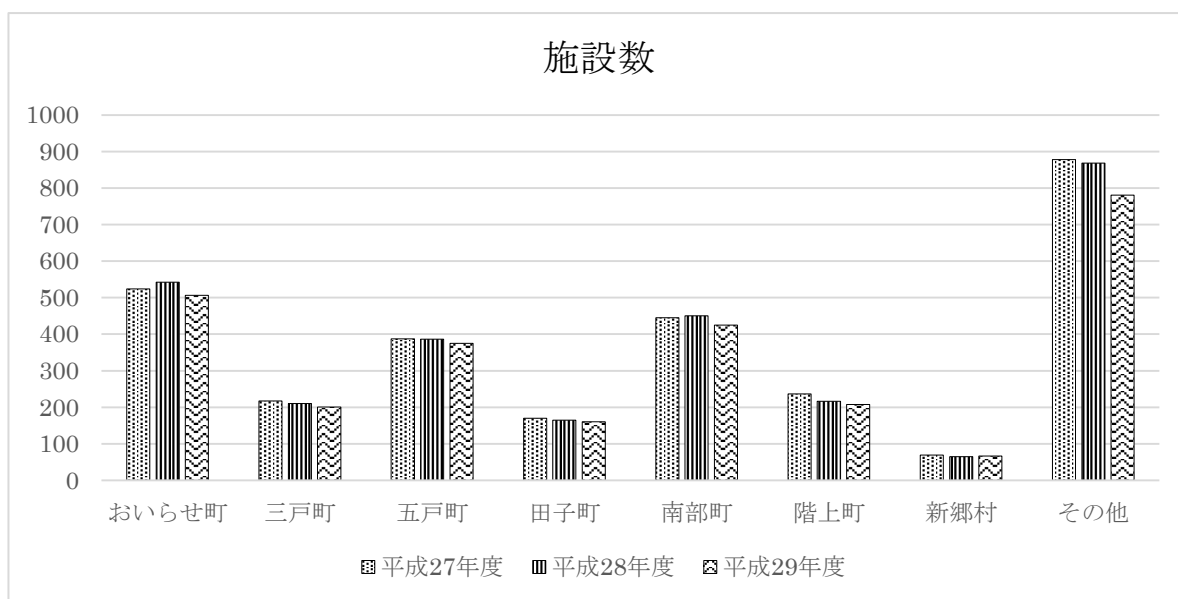
#### 1 食品衛生関係

##### (1) 営業許可を要する業種・施設・許可・監視等の状況

食品衛生法による営業許可は、申請に基づき施設を調査し、基準に適合すると認められたものに対して、期限を付して行われている。

平成 30 年 3 月 31 日まででは 25 業種 2723 件の許可施設があり、これらの施設に対する監視件数は延べ 1221 件であった。

【図-1】 管内市町村別営業許可施設数



##### (2) 営業許可を要しない業種・施設・監視等の状況

給食施設等の許可を要しない施設が平成 30 年 3 月 31 日まで三戸地方保健所管内では 697 件あり、これらの施設に対する監視件数は延べ 1046 件であった。

##### (3) 食品の収去検査実施状況

不良食品の排除、適正な表示を徹底させるため、製造所及び販売所の監視指導を行ったほか、必要に応じて食品を収去し、理化学、細菌検査及び放射性物質検査を実施した。収去検体数は 73 検体であった。

##### (4) 不良食品等の発見及び措置状況

保健所による監視、消費者からの通報などによる不良食品の発見に努めた。発見された不良食品については、製造者に対し改善指導を行うとともに、必要な行政措置を講じるなど、再発の防止に努めた。不良食品発生件数は 4 件であった。

##### (5) 行政処分等の状況

平成 29 年度の食品衛生法違反事例はない。

##### (6) 食中毒発生状況

食中毒発生時には、迅速な調査を実施し、適切な措置を講じることにより、被害の拡大防止と再発防止に努めた。食中毒事件は 1 件発生した。

### (7) 魚介類行商等の登録状況

魚介類及びアイスクリーム類の行商について、食品衛生上の危害の発生を防止するため青森県条例に基づき登録を行っている。

### (8) 食品衛生関係講習会の実施状況

食品衛生責任者講習会の他に、各種製造業者及び給食施設従事者等を対象として、食中毒予防や適正表示の講習会を実施した。衛生講習会は延べ22回実施し、受講者数は1346人であった。

### (9) 食品衛生推進員の委嘱

平成9年度から、食中毒発生防止及び地域における食品衛生の向上を目的として、食品衛生協会の食品衛生指導員の中から、社会的信望があり、かつ、食品衛生の向上に熱意と識見を有する者を食品衛生推進員に委嘱している。管内には9人の推進員がおり、営業者の自主管理の推進や、衛生に関する相談に応じ、助言を行っている。

## 2 化製場等関係

### (1) 化製場の設置状況

獣畜（牛、馬、豚、めん羊、山羊）の肉、皮、骨、臓器等を原料として皮革・油脂・にかわ・肥料・飼料・その他の物を製造するために設けられた施設であり、1施設が許可を受けている。

### (2) 化製場法第8条で規定される施設の設置状況

魚介類又は鳥類の肉、皮、骨、臓器等を原料として油脂・にかわ・肥料・飼料・その他の物の製造施設並びに獣畜、魚介類又は鳥類の肉、皮、骨、臓器等を化製場又はこれに類する施設に供給するための貯蔵施設であり、2施設が許可を受けている。

### (3) 死亡獣畜取扱場の設置状況

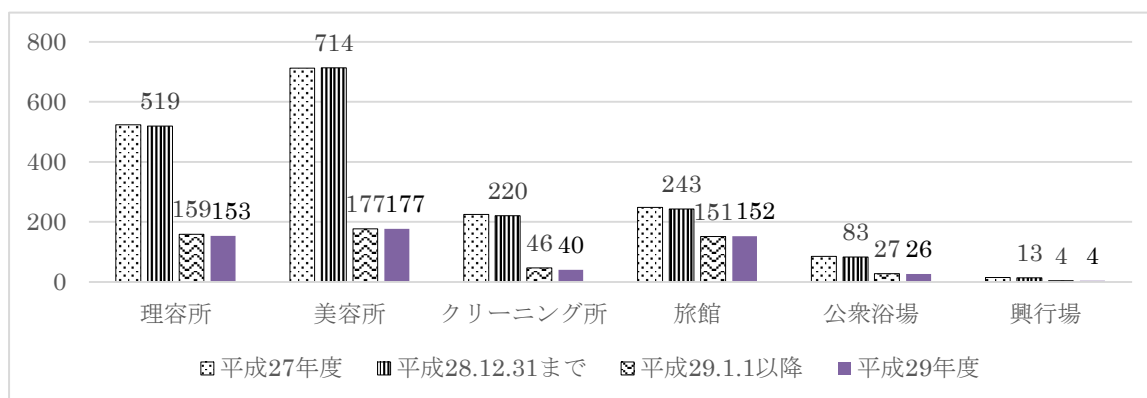
死亡獣畜の解体焼却埋却のために設けられた施設又は区域であり、1施設が町の認可を受けている。

## 3 生活衛生関係

### (1) 生活衛生関係営業施設の状況

公共性の高い施設における衛生を確保するため、理容所・美容所・クリーニング所・旅館・公衆浴場及び興行場の生活衛生関係営業施設について、検査確認、許可に関する事務を行っている。検査確認等の件数は、理容所1件・美容所6件・クリーニング所2件・旅館2件であった。

【図-2】 生活衛生関係営業施設数



### (2) 生活衛生関係営業施設監視・指導の状況

理容所113件、美容所121件、クリーニング所50件、旅館75件、公衆浴場14件、興行場2件の監視指導を行った。

## 4 水道及び飲料水関係

小規模水道 8 件、簡易専用水道 5 件、井戸水 1 件について、衛生監視指導等を行った。

## 5 建築物衛生関係

### (1) 特定建築物施設の状況

技術管理者の立ち会いのもとに、1 件について立入調査を行った。

### (2) 建築物衛生に係る登録営業所の状況

清掃業 6 件、飲料水貯水槽清掃業 8 件、ねずみ・昆虫等防除業 1 件、飲料水水質検査業 4 件及び空気環境測定業 1 件の登録事務を行った。

## 6 その他の施設関係

その他の生活衛生関係業務として、青森県入浴施設におけるレジオネラ症の発生の予防に関する条例に基づき、公衆浴場 14 件、旅館 24 件、医療機関 3 件、福祉施設 48 件の立入調査を行った。

## 7 温泉関係

### (1) 源泉及び温泉利用施設の許可状況

温泉の掘削及び動力装置の設置については、生活衛生課が許可申請窓口となっている。平成 29 年度は、動力装置の許可申請 1 件及び可燃性天然ガス濃度の確認申請 1 件が許可された。管内の源泉数は 63 件である。

温泉利用施設は 24 施設（許可 72 件）あり、温泉利用許可申請について、変更 2 件の処理を行った。また、温泉成分等揭示届出を 5 件受理し、適正な温泉成分等揭示の指導を行った。

### (2) 温泉（源泉）及び温泉利用施設の監視指導状況

源泉及び動力装置 21 件、温泉利用施設 51 件（許可数）の監視指導を行った。



## IV 健康増進課関係業務

### 1 健康づくり関係

(1) 「健康あおもり 21 八戸圏域版 (第 2 次)」の推進について

平成 25 年 12 月に策定した「健康あおもり 21 八戸圏域版 (第 2 次)」に基づき、「早世の減少と健康寿命の延伸により全国と健康格差の縮小をめざす」を全体目標とし、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「飲酒」、「喫煙」、「歯・口腔の健康」、「こころの健康」の 6 分野において取組を実施することで、県民健康づくり運動を推進した。

(2) 市町村における健康増進計画 (第 2 次) の策定推進について

平成 25 年度 5 市町、平成 26 年度 2 町、平成 27 年度 1 村が健康増進計画 (第 2 次) を策定した。保健所は計画策定及び推進にあたり、健康づくり推進協議会等への参加により支援を行なった。

(3) 市町村健康づくり推進協議会への支援

「健康づくり推進協議会」は管内 6 町村に設置されており、委員の委嘱等を受け協議会に参加し、専門的、広域的視点から助言し支援を行っている。

<町村健康づくり推進協議会への出席状況>

町村名	期日	会議名	委員委嘱	出席者
おいらせ町	H29.7.26	健康づくり推進協議会	保健総室長	宮川総室長、矢野保健医長、水木技師
	H29.12.19			宮川総室長、矢野保健医長、水木技師
	H30.2.19			宮川総室長、矢野保健医長、水木技師
三戸町	H29.6.23	健康づくり推進協議会	保健総室長	宮川総室長、矢野保健医長、佐々木技師
	H30.3.15			宮川総室長、矢野保健医長、佐々木技師
五戸町	H30.2.26	健康づくり推進協議会	保健総室長	宮川総室長、矢野保健医長、吉田主幹
田子町	H29.6.28	健康づくり推進協議会	保健総室長	宮川総室長、矢野保健医長、小向技師
	H30.3.14			矢野保健医長、小向技師
南部町	H29.7.13	健康福祉推進協議会	保健総室長	宮川総室長、工藤技師
	H29.12.14			宮川総室長、工藤技師
	H30.2.15			宮川総室長、工藤技師
	H30.3.14			宮川総室長、工藤技師
新郷村	H29.4.25	健康づくり推進協議会	保健総室長	加賀谷課長、北田主査
	H30.3.27			加賀谷課長

※階上町は未設置

(4) 地域・職域保健の連携推進事業

ア 協議会の開催

第1回

日	時	平成 29 年 9 月 27 日 (水) 13:30~15:00
場	所	きざん八戸「グラータィア」
内	容	1 出席者 協議会及び部会の委員 28 人出席 2 内容 (1) 青森県保健医療計画の見直しについて (2) 八戸圏域における重点的な取組み事項について (3) 健康あおもり 21 八戸圏域版 (第 2 次) について 3 その他 八戸地域保健医療推進協議会と併催

第2回

日	時	平成 30 年 2 月 14 日 (水) 13:30~15:00
場	所	きざん八戸「グラータィア」
内	容	1 出席者 協議会及び部会の委員 28 人出席 2 内容 (1) 青森県保健医療計画素案について (2) 八戸圏域における重点的な取組み事項について 3 その他 八戸地域保健医療推進協議会と併催

イ 研修会「三戸町受動喫煙防止対策研修会」

日 時：平成 29 年 9 月 26 日 (火) 17:10~18:20

場 所：三戸町保健センター

対 象：三戸町役場職員、三戸町議会議員 等

出席者：51 名

ウ 健康教育、イベント等

イベント名	期 日	対 象	参加者数	内 容
食品衛生責任者講習会	H29.6.23 H29.9.12 H29.12.7 H30.3.6	食品衛生責任者	85 名 90 名 67 名 92 名 計 334 名	・公衆衛生学 ・衛生法規 ・禁煙施設認証制度、青森のおいしい健康応援店等について
栄養改善業務連絡調整会議及び研修会	H29.8.17	管内町村及び八戸市栄養改善担当者	6 名	・健康あおもり 21 八戸圏域版 (第 2 次) の取組について
理容業に関する衛生講習会	H29.9.25	青森県理容生活衛生同業組合五戸支部組合員	20 名	・ゲートキーパーについて 等
三戸町食生活改善推進員養成講座	H30.1.29	三戸町民	25 名	・国民の健康状態と健康日本 21(第 2 次) ・食育・食事バランスガイドの活用 ・生活習慣病予防の食事
三戸町食生活改善推進員養成講座	H30.2.28	三戸町民	26 名	・おいしくバランスのとれた食事・献立の立て方 ・糖尿病予防の食事

## (5) 喫煙対策推進事業

喫煙による健康被害に対する予防意識の普及啓発を図り、「健康あおもり 21（第2次）」（たばこ領域）の基本指針及び行動目標を実現することを目的とする。

### ア 普及啓発

イベント名	内 容
禁煙週間、世界禁煙デー	ポスター掲示、パンフレット配布、八戸合同庁舎内放送
親と子のよい歯のコンクール	ポスター掲示、パンフレット配布

### イ 空気クリーン施設認証制度

H29 年度新規認証 134 件

(内訳：官公庁 5 件、文化施設 9 件、教育・保育施設 4 件、医療施設 5 件、福祉・介護施設 30 件、体育施設 0 件、事業所 51 件、飲食店 5 件、タクシー等の車両 25 件)

## (6) 健診データ等分析結果について

	内 容
特定健診データの分析	がん・生活習慣病対策課が国保連から一括でデータ提供してもらう健診データ（国保対象）を、ピボットテーブルを用いて、保健所の各町村担当保健師がそれぞれ集計を実施した。集計・分析したデータは町村へ還元する。
レセプトデータの分析	町村において、国保総合システムで作成される各町村の国保レセプトデータの提供を国保連に依頼し取得する。取得したデータをレセプト分析ツールにより集計する。保健所で管内データを集計する。
健診データ分析結果活用検討会	管内特定健康診査データ集計結果資料を管内町村リーダー保健師等に送付した。平成 30 年度の町村巡回等において、データ分析結果の説明をする予定である。

## (7) 保健協力員研修会

三八圏域の保健協力員（保健推進員）活動を活性化させ、健康づくり事業推進に役立てるとともに、他市町村保健協力員との交流を深め、相互啓発を図ることを目的に開催した。

期 日	平成 29 年 9 月 19 日
場 所	八食センター 厨ホール
内 容	1 意見交換 ①グループ討議「元気に活動を続けていくために」 ②グループ発表 2 講演 「認知症について～わたしたちにできること～」 講師：青南病院認知症疾患医療センター精神保健福祉士 生駒 有理氏 看護師 上野 ゆかり氏
参加人数	保健協力員 85 人、市町村担当者 7 人、事務局 6 人 計 98 人

## 2 精神保健福祉関係

精神保健福祉法及び障害者総合支援法、精神障害者に配慮した保健医療及び福祉の推進、地域保健活動の充実、障害者福祉の充実、障害者プランの着実な推進により、精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加促進のための施策を実施し、精神保健福祉の向上を図った。

### (1) 精神障害者申請・通報・届出状況

精神保健福祉法に基づく申請・通報・届出は17件あり、その内5件が要措置であった。平成29年度末の措置患者は2人(全員が管内医療機関に入院)となっている。

申請・通報・届出件数及び処理状況

(件)

区 分	申 請 通 報	調査により指定医の 診察の必要ないと 認められた者	指 定 医 の 診 察 を 受 け た 者		計
			法 第 2 9 条 該当症状の者	法第29条該当症 状でなかった者	
一 般 の 申 請					
警 察 官 の 通 報	9	1	5	3	8
検 察 官 の 通 報	1	1			
保 護 観 察 所 長 の 通 報					
矯 正 施 設 の 長 の 通 報	7	5	0	2	2
病 院 の 管 理 者 の 届 出					
計	17	7	5	5	10

### (2) 精神保健福祉手帳交付状況

平成29年度の交付件数は1,810件であった。平成29年度末現在の手帳所持者数は、3,212人であった。

精神障害者保健福祉手帳交付件数

(件)

件数 市町村名	所 持 者 数				平 成 2 9 年 度 交 付 件 数				平成 28年度	平成 27年度	平成 26年度
	合 計	1 級	2 級	3 級	合 計	1 級	2 級	3 級			
八 戸 市	2,416	902	1,270	244	1,355	491	729	135	1,240	1,044	1,135
おいらせ町	165	62	82	21	99	31	54	14	79	66	67
三 戸 町	99	35	51	13	52	12	33	7	56	48	49
五 戸 町	172	72	77	23	93	36	45	12	89	78	79
田 子 町	45	20	23	2	28	12	15	1	28	7	17
南 部 町	157	66	75	16	90	40	42	8	80	64	82
階 上 町	142	61	63	18	80	40	32	8	81	51	62
新 郷 村	16	9	6	1	13	8	4	1	5	9	5
合 計	3,212	1,227	1,647	338	1,810	670	954	186	1,658	1,367	1,496

### 【参考】

(件)

	28年度末 所持者数 (A)	平 成 2 9 年 度 交 付 件 数 ( B )					再交付	有効期限 経過等 (C)	29年度末 所持者数 (A+B-C)
		合計	新規	更新	転入	程変			
1 級	1,178	670	45	618	2	5	18	621	1,227
2 級	1,418	954	194	739	14	7	24	725	1,647
3 級	268	186	71	112	3	0	5	116	338
合計	2,864	1,810	310	1,469	19	12	47	1,462	3,212

(3) 医療状況

ア 自立支援医療（精神通院医療）利用者数

平成 29 年度中の受給者証交付人数は 5,278 人、処理件数は 6,760 件であった。

受給者証処理件数内訳

(件)

新規	継続	転入	変更等	再登録	合計
580	4,627	35	1,298	220	6,760

イ 管内医療機関総入院患者数（精神病院月報）

平成 29 年度末で 1,195 人であった。

入院通院状況（精神病院月報より）

(人)

年 度	入 院				自立支援医療 (精神通院医療) 利用者数
	合 計	措 置	医 療 保 護	任 意	
平成 25 年度	1,207	3	586	618	4,235
平成 26 年度	1,225	8	549	668	4,614
平成 27 年度	1,216	7	553	656	4,702
平成 28 年度	1,209	6	571	632	4,789
平成 29 年度	1,195	3	570	622	5,278

(4) 精神保健福祉相談状況

定期相談：嘱託医(精神科医師)による相談を月 1 回開催。延べ 2 件。

随時相談：保健師による相談。延べ 9 件。

電話相談：保健師による相談。延べ 230 件。

相談内容を見ると、受診・入院に関する相談、生活指導について、患者への接し方の順に多い。

ア 相談日数・件数

(件)

区 分	定期開催日数	総 延 件 数	再 掲		
			定 期	随 時	電 話
一般精神保健福祉相談	11	241 (70)	2 (2)	9 (6)	230 (62)

( ) は実数

イ 目的別相談件数

(件)

相 談 内 容	受 診 ・ 入 院 について	通 院 ・ 服 薬 について	生 活 指 導 等 について	経 済 的 問 題	性 格 ・ 行 動 上 の 事 項	患 者 へ の 接 し 方 について	ア ル コ ー ル について	薬 物 について	人 間 関 係 について	施 設 入 所 について	社 会 復 帰 について	福 祉 サ ー ビ ス の 利 用 について	ひ き こ も り	そ の 他	自 殺 関 連 (再 掲)	計
総 延 件 数	28	4	0	1	9	9	3	1	10	1	0	3	1	171	8	241

(5) 訪問指導状況

平成 29 年度延べ 46 件であった。

訪問指導状況

(件)

事業区分	保健師（相談員を含む）による	その他の職員による	合計
延人員	46	0	46
実人員	27	0	27

(6) ケア会議の開催及び参加

ケア会議の開催及び参加状況

実施主体	実施回数	内容等
保健所	2	対応困難事例の対応について
市町村	0	
医療機関	5	措置解除者・入院中患者の退院後の支援について
その他	9	医療観察法対象者への対応について

(7) 研修

期日	場所	対象者	参加人員	テーマ・内容	講師
H29.9.25	五戸町立公民館	青森県理容生活衛生同業組合五戸支部組合員	20	ゲートキーパー講習会	三戸地方保健所健康増進課技師 十文字 崇子

(8) 自殺予防対策事業

ア 包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

自殺対策を効果的に実施するためのネットワークを強化し、社会全体の自殺リスクを低下させていくことを目的に実施した。

多分野合同研修会（八戸圏域自殺対策ネットワーク会議）

期日	場所	参加人員	内容等
H29.11.9	きざん八戸	28	(1)情報提供「八戸圏域の自殺者及び自殺未遂者の現状」 「救急告示病院における自殺未遂者対応調査の結果報告」 (3)講演・ワークショップ（事例検討） テーマ「自殺企図評価と多機関連携」 講師 青森県立精神保健福祉センター 所長 田中 治 氏

イ その他の関係機関主催の事業への協力

- ・消費者信用生活協同組合主催の「相談会」における健康相談への従事：年 2 回

(9) アルコール問題を話し合う家族のつどい「ブーケの会」への支援

アルコール関連問題を抱える家族が、悩みを話し元気になれるよう、また自主組織が順調に運営されるよう支援した。

開催回数： 年 24 回（月 2 回定例日）

参加状況： 家族 延べ 54 人（実人員 7 人）

当事者 延べ 29 人（実人員 3 人）

三戸地方保健所保健師 延べ 25 人

八戸市保健所保健師 延べ 6 人

(10) 関係機関等連絡会議及び研修

会議名	期日	出席者	内 容
精神保健福祉企画会議	H29.6.9	13	所長及び所内関係者で、29年度精神保健福祉業務計画について、現状・課題、重点目標、重点事業等について説明し、意見交換した（健康増進課企画会議内で実施）。
三八地域精神保健福祉担当者連絡会議	H29.8.1	23	圏域内市町村の精神保健福祉担当事務職員・保健師を対象に、業務の適正かつ円滑な遂行を図るため、精神保健福祉業務の事務手続きの確認と情報交換を行った。
多分野合同研修会（八戸圏域自殺対策ネットワーク会議）	H29.11.9	28	八戸消防本部から自殺及び自殺未遂者の救急搬送に係る情報提供をいただいて集計・分析したり、救急告示病院における自殺未遂者調査の結果を情報提供し、関係者が圏域内の自殺者及び自殺未遂者の現状について把握するための基礎資料とした。また、自殺未遂者が再企図を防ぐための支援について、事例を通じて実践的に学びを深め、関係者がそれぞれの立場から支援策を考え、互いに共有した。
地域生活支援広域調整会議	H29.12.21	30	関係者が圏域の現状を把握し、医療、保健、福祉関係者がサービス提供体制や連携方法について理解できるよう、関係機関を対象に実施した調査結果の報告や、実際に地域移行制度を利用した事例について話題提供をおこなった。
八戸地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	H30.2.6	33	精神科救急医療システムの実施体制の整備に関する検討及びシステムの運営に関すること等について協議した。

(11) 精神障害者家族会等の組織育成

精神障害者の理解を深め、障害者の社会復帰を目標に学びあい家族間の親睦を図るとともに、社会における偏見を是正し、地域精神保健福祉の向上を図るため、家族会の運営等に対しての助言、支援を行った。

ア 県南地区精神保健福祉家族会研修会への支援

期日	場 所	参加人員	内 容 等
H29.6.5	三戸地方保健所	22	事前打合せ ・第25回県南地区精神保健福祉家族会研修会開催について ・各家族会の情報交換
H29.12.15	三戸町民体育館	129	第25回県南地区精神保健福祉家族会研修会 テーマ「当事者の力、家族の力、地域の力が未来を拓く」 (1)講演「こころの柔軟体操でツラさをほぐす 認知行動療法のアプローチ」 講師 自衛隊三沢病院 心理療法士 大曾根 崇幸 氏 (2)体験発表（当事者1名・家族1名） (3)演奏会 奏者：工藤 高明 氏 （さくらアンサンブル三戸） (4)作業所・家族会作品展販売
H30.1.15	三戸地方保健所	16	反省会 ・第25回県南地区精神保健福祉家族会研修会事業報告 ・今後の研修内容について意見交換 ・各精神障害者家族会の情報交換

イ 精神障害者当事者の会「八戸地域回復者クラブ」への支援

自主的な集団活動を通じて、対人関係の改善、社会性の増進、就労意欲の向上を図ることを目的に毎月1回（年12回）実施し、事務局として必要な助言指導し、総会等に参加した。

回復者クラブ支援状況

総 会	1回 9人参加 (会員4人、ボランティア1人、三戸地方保健所3人、八戸市保健所1人)
例 会	11回 各回会員2~4人参加 (ボランティア1~8人参加)
会 報 発 行	1回

ウ 八戸地域認知症者を抱える家族の会「やさしい手の会」への支援

総会、学習会や交流会、会報「やさしい手の会だより」発行に協力支援した。



### 3 母子保健関係

#### (1) 妊産婦保健指導状況

妊婦連絡票は、母子保健衛生の向上、乳児死亡率の低減等を図ることを目的として、医療機関・市町村・保健所の相互連携のもとに、妊婦への生活指導等効果的な支援活動を推進するため、平成7年度から実施しているものである。

平成29年度は501件の妊娠届出があり、そのうち18医療機関から489件の妊婦連絡票の提出があった。妊婦連絡票の提出があった者に対して保健指導が行われたものは499件、妊婦連絡票の提出はないが保健指導が行われたものは27件であった。

要連絡・指導妊産婦連絡票は、ハイリスク妊産婦を把握し、適切な保健指導を行うために実施しているものであり、平成29年度は36件であった。

#### (2) 未熟児等情報共有システム

平成25年度から未熟児訪問指導は市町村に移譲され、新たに「青森県未熟児等情報共有システム」により、未熟児に係る連携を実施することになった。

未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に未熟で、疾病にもかかりやすく、心身の障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて育児支援を適切に進めるために関係機関と情報を共有し、連携体制の構築に努めた。

管内の未熟児等保健指導状況については、母子保健ネットワーク会議を通じて、関係機関へ情報提供と未熟児支援の意識付けを行った。

平成29年度は未熟児等出生連絡票受理数24件、未熟児等訪問指導連絡票発行数26件であった。

#### (3) 療育相談

すべての心身障害児が早期に発見され、その時々に必要な相談指導及び療育が受けられるようにすることを目的に月1回実施した。

平成29年度は12回・相談者延べ18人(実10人)来所した。

#### (4) 小児慢性特定疾病医療費助成制度及び小児慢性特定疾病児童手帳交付

小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、健全育成の観点から、患児家族の医療費の負担軽減を図るため、その医療費の自己負担分の一部を助成している。

平成27年1月1日から、より公平かつ安定的な医療費助成の制度として、新たな小児慢性特定疾病医療費支給制度となり、旧制度の11疾患群514疾病の名称や分類を見直した597疾病に、新たに107疾病を加えた14疾患群704疾病が医療費助成の対象となった。平成29年4月1日から、さらに対象疾病が拡大され、14疾患群722疾病が対象となった。当管内の小児慢性特定疾病医療受給者数は77人であった。

また、小児慢性特定疾病医療費支給の承認を受けた児童に対し、緊急の連絡先等を記載する、患児手帳(ひまわり手帳)を交付した。

ア 小児慢性特定疾病児童手帳(ひまわり手帳)交付状況 (件)

疾患種類 年度	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	計
平成25年度	2	2		2	5	3	1	2	1						18
平成26年度	6	1		5	2		2	1	1		1				19
平成27年度	2	4	1	6	6	4	1	1	1			6			32
平成28年度	11	8	7	11	5		3	2	3	1	7	2	2		62
平成29年度	3		1	5		1			1			3	1		15

		計	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
合 計	受給者	77	34	6	10	2	16	9	
	手帳	15	6	3	2	1		3	
01 悪性新生物	受給者	8	2		3		1	2	
	手帳	3			2			1	
02 慢性腎疾患	受給者	8	4		1		1	2	
	手帳								
03 慢性呼吸器疾患	受給者	3	2					1	
	手帳	1						1	
04 慢性心疾患	受給者	20	9	2	4	2	2	1	
	手帳	5	3			1		1	
05 内分泌疾患	受給者	9	4				4	1	
	手帳								
06 膠原病	受給者	3	1	1			1		
	手帳	1		1					
07 糖尿病	受給者	5	2		1		2		
	手帳								
08 先天性代謝異常	受給者	3	2				1		
	手帳								
09 血液疾患	受給者	4	1	1			1	1	
	手帳	1		1					
10 免疫疾患	受給者								
	手帳								
11 神経・筋疾患	受給者	5	2		1		1	1	
	手帳								
12 慢性消化器疾患	受給者	7	4	1			2		
	手帳	3	2	1					
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	受給者	2	1	1					
	手帳	1	1						
14 皮膚疾患	受給者								
	手帳								

※ 2 疾患ある者は主要疾患に含む

(5) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整その他の事業を行うことを目的に実施した。

ア 所内相談（小児慢性特定疾病医療受給者証申請時及び交付時等の面接）

相談内容別人員数

(件)

実人員	延人員								
	申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就学	食事・栄養	歯科	その他	計
29	14	15	15	16	11	3	0	1	75

イ 訪問指導 6件（実6件）

ウ 療育相談巡回指導 0件

エ 電話相談 0件

オ 要保健指導児の疾患別相談状況

（小児慢性特定疾患医療意見書等で保健所による要保健指導の記載のあった者に対して実施した件数）

疾患区分別相談人員数

疾患区分	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	計
指導実人員(人)															0

(6) 女性の健康支援事業

女性は、妊娠、出産等固有の機能を有するだけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えている。このため、生活に密着した身近な機関において、女性がその健康状態に応じた確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談することができる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康保持増進を図ることを目的に平成14年度から月1回「女性の健康相談」を実施している。平成29年度の相談件数は、定期相談0件、随時相談74件(特定不妊治療費助成事業の申請時の対応含む)、電話相談1件で、相談内容は全て不妊に関することであった。

(7) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については1回の治療が高額であり、その経済的負担が重いことから十分な治療を受けることができず、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくないことから、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図ることを目的に平成17年度から実施している。平成29年度の申請件数は63件であった。

(8) 妊産婦支援体制整備事業（母子保健ネットワーク強化事業、産後うつ病の予防対策推進事業）

保健と医療の連携を一層強化することにより妊産婦の健康管理の徹底及び周産期死亡率等の改善、虐待の発生予防が図られることを目的に実施した。

ア 母子保健ネットワーク会議開催状況

期 日	平成 29 年 9 月 7 日 (木) 10:00～16:00	平成 29 年 11 月 8 日 (水) 14:00～16:00
場 所	県立はまなす医療療育センター	三戸地方保健所 2 階大会議室
参加者等	初任期保健師 16 名、 保健所職員 4 名	産科等医療機関関係者 10 名、八戸市保健所及び管内町村保健師 10 名、福祉事務所 1 名、児童相談所 2 名、保健所職員 7 名
内 容	<p>※平成 29 年度第 2 回三戸地方保健所初任期等保健師研修及び地域保健関係者研修と併催</p> <p>1. 講義及び演習 「乳幼児の運動発達について」 県立はまなす医療療育センター 園長 盛島利文氏</p> <p>2. 講話及び意見交換 「運動発達遅滞児への看護支援」 ～運動発達遅滞児に関わる地域連携について～ 県立はまなす医療療育センター 看護師長 山田康子氏</p> <p>3. 施設見学</p> <p>4. 意見交換 「療育の実際と連携の在り方について」 助言者 看護師長 山田康子氏 健康増進課長 加賀谷久子</p>	<p>1. 情報提供 (1)妊産婦情報共有システム運用状況について (2)未熟児情報共有システム運用状況について</p> <p>2. 話題提供 「精神疾患を抱える妊婦の支援について」 八戸市立市民病院 新周産期センター 外来 看護師長（母性看護専門看護師） 古屋敷智美氏</p> <p>3. 意見交換 (1)「精神疾患を抱える妊産婦の支援について」 (2)その他</p>

イ 産後うつ病の予防対策推進事業

平成 25 年度より未熟児訪問が市町村に移譲されたことにより、保健所での EPDS 実施やカンファレンスは行っていない。市町村や医療機関における実施状況を把握するため、母子保健ネットワーク会議の事前アンケートにより状況を把握し、会議においてアンケート内容をもとに情報提供と意見交換を行い、EPDS 実施の普及啓発を行った。

(9) 母子保健ライブラリー整備事業

母子保健に関する健康教育や保健指導等に活用するための専門図書、視聴覚教材、特殊模型等を整備し、母子保健関係者に閲覧・貸し出しを行い、母子保健事業の充実を図った。

平成 29 年度利用状況

閲 覧 者 数	貸し出し件数	貸 し 出 し の 内 容			内 訳
		図 書	視 聴 覚 教 材	模 型 等	
	3				4

## 4 栄養関係

### (1) 健康・栄養調査

#### ア 国民健康・栄養調査

国民の身体状況及び栄養摂取量、生活習慣等の状況を明らかにし、健康増進対策等に必要な基礎資料を得ることを目的として、国民生活基礎調査の単位区からの無作為抽出により選定された地区を国の委託事業として実施する調査である。（平成 29 年度は非該当）

#### イ 県民健康・栄養調査

平成 28 年度に実施した県民健康・栄養調査の報告書を作成するため、集計、分析作業を実施した。

### (2) 給食施設栄養管理指導事業

#### ア 施設巡回指導

栄養効果の十分な給食の提供及び給食担当者の栄養に関する知識の向上が図られるよう、管内の給食施設に対して指導、助言を実施した。

実施状況

区 分	特定給食施設		特定多数人に対して継続的に食事を供する施設 (特定給食施設を除く)		計		総計
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
栄養管理巡回指導延施設数 (A)	10	0	27	8	37	8	45
施設来所指導数	0	0	0	0	0	0	0
電話による相談数	0	0	0	0	0	0	0
喫煙者への栄養・運動指導延人員	0	0	0	0	0	0	0
対象給食施設数 (B)	26	0	34	11	60	11	71
指定給食施設数 (再掲)	0	0			0	0	0
指定給食施設巡回指導延数 (再掲)	0	0			0	0	0
指導率% (A/B×100)	38.5	0.0	79.4	72.7	61.7	72.7	63.4

#### イ 研修会の開催

給食施設を利用する喫食者の健康増進に寄与されるよう、従事している栄養士及び調理師等を対象に研修会を開催した。

実施状況

期 日	会 場	対 象	参加者数	内容等
H29.12.20	協同組合 八戸総合卸 センター	給食施設（病院、高齢者施設、障害者（児）施設）の栄養士、調理師、調理員、事務担当者等	44人	情報提供 青森県における栄養改善対策について 講話 栄養食事情報提供書の活用について 公益社団法人 青森県栄養士会 理事 伊藤恵美子氏 グループワーク 咀嚼や嚥下機能に合わせた食事提供及び栄養指導の現状と課題について
H30.1.11	八食センター 廚スタ ジウム	給食施設（幼稚園、保育園、学校給食センター）の栄養士、調理師、調理員、幼稚園教諭、保育士、小中学校教諭、管内町村歯科保健担当者等	39人	情報提供 管内の乳幼児及び学童の歯科保健の現状について 講演 小児の口腔機能の発達について 青森県口腔保健支援センター 副参事 金澤孝彦氏 グループワーク 子どもの健康はお口から～取組の現状と課題について～

(3) **青森のおいしい健康応援店認定事業**

県民の生活習慣病予防と健康寿命アップを図ることを目的に、肥満予防及び食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加に取り組んでいる飲食店等を「青森のおいしい健康応援店」と認定しており、平成29年度は27店舗認定した。

(4) **食品表示基準に基づく栄養成分表示の指導**

加工食品及び添加物の容器包装への栄養成分表示について、食品表示基準に基づき適正に表示されるよう食品関係業者に指導・助言を実施している。

平成29年度の食品関係業者からの栄養表示等に関する相談・指導は42件であった。

(5) **保健機能食品制度（栄養機能食品と特定保健用食品）の許可指導**

健康の維持・増進に役立つ等、当該食品を摂取することにより特定の保健の目的が期待できる表示の許可申請指導及び業者等を対象とした指導・助言を実施している。

管内で特定保健用食品の許可を受けている業者から、4品の許可失効届があった。

(6) **虚偽・誇大広告の禁止に関する指導**

健康保持増進の効果等の食品の広告が、虚偽・誇大とならないよう、食品関係業者に指導・助言を実施している。

平成29年度の食品関係業者に対する相談・指導は、2件であった。

(7) **市町村栄養改善業務支援事業**

ア 連絡調整会議・研修会

地域の健康・栄養課題の解決に向けた施策が他職種や関係機関と連携し効果的に実施できるよう、栄養改善業務従事者を対象に連絡調整会議、研修会を開催した。

実施状況

日 時	H29.8.17 13:30~16:30
会 場	三戸地方保健所 大会議室
参 加 者	6市町村6人（栄養士4名、保健師1名、行政職1名）
内 容 等	1 連絡調整会議 (1) 母子保健対策（健診時の離乳食指導）について (2) 食生活改善推進委員会の育成支援 (3) 栄養改善対策の重点 —健康増進計画（第2次）の取組みについて— (4) 災害時の栄養・食生活支援活動について 2 研修会 (1) 講話 青森県及び当圏域の高齢者対策について 講師 三戸地方保健所 北田純代主査 (2) 情報交換 高齢者の栄養改善対策事業について

イ 栄養改善業務支援

管内の地区組織育成支援を4町に対し延8回実施した。

(8) **食生活改善推進員育成事業**

管内の食生活改善推進員会は八戸市保健所設置に伴う組織改編により「三戸地方保健所管内食生活改善推進員連絡協議会」となった。

平成29年度は管内協議会の総会並びに研修会、理事会等の開催、養成講座の講師等支援した。

ア 三戸地方保健所管内食生活改善推進員連絡協議会活動状況

① 役員会・理事会の開催状況

期 日	会 場	会 議 名	参加者数
H29.4.5	三戸地方保健所	第1回役員会	10
H29.4.19	三戸地方保健所	第1回理事会	10
H29.6.27	三戸地方保健所	第2回理事会	7
H29.8.25	三戸地方保健所	第3回理事会	7
H29.11.16	三戸地方保健所	第4回理事会	7
H29.12.14	三戸地方保健所	臨時理事会	8
H30.1.18	三戸地方保健所	第5回理事会	11
H30.3.13	三戸地方保健所	第6回理事会	7

② 研修会の開催状況

期 日	会 場	内 容	参加者数
H29.5.15	きざん八戸	平成29年度三戸地方保健所管内食生活改善推進員連絡協議会総会並びに研修会	66
H29.7.5	上長公民館	シルバー・認知症予防教室	24
H29.8.2	上長公民館	おやこの食育教室	23
H29.10.4	上長公民館	生涯骨太クッキング教室	23

③ 三戸地方保健所管内食生活改善推進員設置状況

町村名	世帯数	基準会員数	会員数	配置率 (%)
おいらせ町	8,658	124	100	80.6
三戸町	3,756	54	59	109.3
五戸町	6,123	87	65	74.7
田子町	2,006	29	32	110.3
南部町	6,419	92	104	113.0
階上町	5,699	81	19	23.5
新郷村	831	12	20	166.7
合 計	33,492	479	399	83.3

※1 世帯数は、平成27年国勢調査による

2 基準人員は、70世帯に1人を目標として算定

3 現員は、平成29年4月1日現在

④ 養成講座支援状況

町村名	期 日	内 容	対象者数	
三戸町	H30.1.29	講義 ・「国民の健康状態と健康日本21（第2次）」 ・「食品衛生と食中毒予防、食品表示」 ・「食育、食事バランスガイドの活用」 調理実習 ・「身体がよろこぶ食事（生活習慣病予防の食事）」	健康増進課長 加賀谷久子 主幹 南勲 主査 船渡めぐみ	25
	H30.2.28	講義 ・「おいしくバランスのとれた食事・献立の立て方」 調理実習 ・「身体がよろこぶ食事（糖尿病予防の食事）」	主査 船渡めぐみ	26
五戸町	H29.4.28	講義「食品衛生について」	主幹 南勲 主査 山上左都子	37

## 5 歯科保健関係

### (1) 親と子のよい歯のコンクールに関すること

県では、「歯と口の健康週間」や「親と子のよい歯のコンクール」等の事業を通じて、歯科保健の推進を図っている。平成29年度は、管内の「親と子のよい歯のコンクール」で最優秀賞となった五戸町の親子1組を県コンクールに推薦し、優良賞となった。

### (2) 8020 運動推進特別事業

管内の給食施設従事者、幼稚園教諭、保育士、小中学校教諭等を対象に、乳幼児及び学童のう蝕予防及び咀嚼等口腔機能の向上に関する研修会を開催し、知識の普及・啓発を図ると共に、関係機関における取組を推進することを目的に、「平成29年度三戸地方保健所8020運動推進特別事業研修会」を開催した。

期 日	場 所	対 象	参加者数	内 容 等
H30.1.11	八食センター 一厨スタジアム2階 ホール	管内の給食施設(幼稚園、保育園、学校給食センター)の栄養士、調理師、調理員、幼稚園教諭、保育士、小中学校教諭、管内町村歯科保健担当者等	39人	1. 情報提供 「管内の乳幼児及び学童の歯科保健の現状について」 三戸地方保健所健康増進課 技師 小向 美佳 2. 講演 「小児の口腔機能の発達について」 青森県口腔保健支援センター 副参事 金澤 孝彦 氏 3. グループワーク 「子どもの健康はお口から～取組の現状と課題について～」



## 6 難病関係

### (1) 指定難病医療費助成制度及び特定疾患治療研究事業

指定難病にかかっている患者に対して、医療費の負担軽減を図るため、その治療に係る医療費の一部を助成している。

平成27年1月1日から、より公平かつ安定的な医療費助成の制度として、新たな指定難病医療費助成制度となり、対象疾病は旧制度（特定疾患治療研究事業）の56疾患から110疾病に拡大、平成27年7月からは、306疾病に拡大、平成29年4月からは、330疾病に拡大されている。

なお、スモン、難治性の肝炎のうち劇症肝炎、重症急性膵炎、プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）、重症多形滲出性紅斑（急性期）の5疾患は引き続き、特定疾患治療研究事業により医療費助成の対象とされている。

当管内の指定難病医療費助成制度による特定医療受給者数は1,950人、特定疾患治療研究事業による特定疾患医療受給者数は1人だった。

ア 平成29年度市町村別特定医療受給者証交付数（指定難病医療費助成制度） (H30.3.31現在)

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
合計	1,950	1,395	136	70	125	32	112	64	16
1 球脊髄性筋萎縮症	1	1							
2 筋萎縮性側索硬化症	32	17	4	4	4	1	2		
3 脊髄性筋萎縮症	1	1							
4 原発性側索硬化症	0								
5 進行性核上性麻痺	34	27	3	1			2	1	
6 パーキンソン病	241	179	11	9	12	5	15	7	3
7 大脳皮質基底核変性症	14	10	1		3				
8 ハンチントン病	0								
9 神経有棘赤血球症	0								
10 シャルコー・マリー・トゥース病	4	3		1					
11 重症筋無力症	52	41	3	1	4	1	1		1
12 先天性筋無力症候群	0								
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	54	42	2	1	3		2	4	
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	13	6	2	1		1	2	1	
15 封入体筋炎	1	1							
16 クロウ・深瀬症候群	0								
17 多系統萎縮症	22	12	2	2	3		3		
18 脊髄小脳変性症	131	90	9	2	14	2	6	5	3
19 ライソゾーム病	1		1						
20 副腎白質ジストロフィー	0								
21 ミトコンドリア病	6	5		1					
22 もやもや病	29	21	5		3				
23 プリオン病	0								
24 亜急性硬化性全脳炎	0								
25 進行性多巣性白質脳症	1	1							
26 HTLV-1 関連脊髄症	0								
27 特発性基底核石灰化症	0								
28 全身性アミロイドーシス	5	3		1	1				
29 ウルリッヒ病	0								
30 遠位型ミオパチー	0								

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
31 ベスレムミオパチー	0								
32 自己食空胞性ミオパチー	0								
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0								
34 神経線維腫症	10	8	1			1			
35 天疱瘡	5	3			2				
36 表皮水疱症	0								
37 膿疱性乾癬	7	6	1						
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1		1						
39 中毒性表皮壊死症	0								
40 高安動脈炎	4	3	1						
41 巨細胞性動脈炎	0								
42 結節性多発動脈炎	0								
43 顕微鏡的多発血管炎	11	7		2				1	1
44 多発血管炎性肉芽腫症	3	3							
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	4							
46 悪性関節リウマチ	8	7					1		
47 バージャー病	14	12	1				1		
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	1							
49 全身性エリテマトーデス	131	94	11	5	8	2	8	3	
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	35	23	3		3	2	3		1
51 全身性強皮症	25	17	3	1	2		2		
52 混合性結合組織病	28	23			1		1	3	
53 シェーグレン症候群	5	4					1		
54 成人スチル病	5	4			1				
55 再発性多発軟骨炎	1	1							
56 ペーチェット病	54	42	3		4	2	1	2	
57 特発性拡張型心筋症	30	12	3	2	5	1	7		
58 肥大型心筋症	5	3	1		1				
59 拘束型心筋症	0								
60 再生不良性貧血	17	9	1	3			3	1	
61 自己免疫性溶血性貧血	2	2							
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	0								
63 特発性血小板減少性紫斑病	39	20	4	3	3	2	3	3	1
64 血栓性血小板減少性紫斑病	0								
65 原発性免疫不全症候群	0								
66 I g A腎症	7	5		2					
67 多発性嚢胞腎	15	11	1		2				1
68 黄色靭帯骨化症	8	6	1					1	
69 後縦靭帯骨化症	82	61	4	1	8		5	3	
70 広範脊柱管狭窄症	3	3							
71 特発性大腿骨頭壊死症	77	58	4	4	2	1	3	5	
72 下垂体性ADH分泌異常症	4	3					1		
73 下垂体性TSH分泌亢進症	0								
74 下垂体性PRL分泌亢進症	7	6	1						
75 クッシング病	2	1					1		
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0								

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	9	5	1	1		1	1		
78 下垂体前葉機能低下症	27	19	4		2	1	1		
79 家族性高コレステロール血症	0								
80 甲状腺ホルモン不応症	0								
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	1						1		
82 先天性副腎低形成症	0								
83 アジソン病	0								
84 サルコイドーシス	39	32	3	1		1	1	1	
85 特発性間質性肺炎	15	6	2	2	1		3	1	
86 肺動脈性肺高血圧症	6	6							
87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0								
88 慢性血栓栓性肺高血圧症	5	3			1		1		
89 リンパ脈管筋腫症	0								
90 網膜色素変性症	50	31	2	5	5	2	1	4	
91 バッド・キアリ症候群	1		1						
92 特発性門脈圧亢進症	0								
93 原発性胆汁性胆管炎	28	19		3	1		3	2	
94 原発性硬化性胆管炎	0								
95 自己免疫性肝炎	7	4		1	1			1	
96 クロウン病	113	87	7	2	3	1	6	5	2
97 潰瘍性大腸炎	273	203	21	6	15	4	17	6	1
98 好酸球性消化管疾患	0	0							
99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0								
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0								
101 腸管神経節細胞僅少症	0								
102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	0								
103 CFC症候群	0								
104 コステロ症候群	0								
105 チャージ症候群	0								
106 クリオピリン関連周期熱症候群	0								
107 全身型若年性特発性関節炎	0								
108 TNF受容体関連周期性症候群	0								
109 非典型溶血性尿毒症症候群	0								
110 ブラウ症候群	0								
111 先天性ミオパチー	1	1							
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0								
113 筋ジストロフィー	23	19	1	1	1			1	
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0								
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0								
116 アトピー性脊髄炎	0								
117 脊髄空洞症	1		1						
118 脊髄髄膜瘤	0								
119 アイザックス症候群	0								
120 遺伝性ジストニア	0								
121 神経フェリチン症	0								
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0								

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0								
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0								
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0								
126 ペリー症候群	0								
127 前頭側頭葉変性症	1	1							
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	0								
129 痙攣重積型（二相性）急性脳症	0								
130 先天性無痛無汗症	0								
131 アレキサンダー病	0								
132 先天性核上性球麻痺	0								
133 メビウス症候群	0								
134 中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	0								
135 アイカルディ症候群	0								
136 片側巨脳症	0								
137 限局性皮質異形成	0								
138 神経細胞移動異常症	0								
139 先天性大脳白質形成不全症	0								
140 ドラベ症候群	0								
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0								
142 ミオクロニー欠伸てんかん	0								
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0								
144 レノックス・ガストー症候群	0								
145 ウェスト症候群	0								
146 大田原症候群	0								
147 早期ミオクロニー脳症	0								
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0								
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0								
150 環状20番染色体症候群	0								
151 ラスムッセン脳炎	0								
152 PCDH19関連症候群	0								
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0								
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0								
155 ランドウ・クレフナー症候群	0								
156 レット症候群	1		1						
157 スタージ・ウェーバー症候群	1	1							
158 結節性硬化症	2	2							
159 色素性乾皮症	0								
160 先天性魚鱗癬	0								
161 家族性良性慢性天疱瘡	0								
162 類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	2	2							
163 特発性後天性全身性無汗症	0								
164 眼皮膚白皮症	0								
165 肥厚性皮膚骨膜炎	0								

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
166 弾性線維性仮性黄色腫	0								
167 マルフアン症候群	1				1				
168 エーラス・ダンロス症候群	0								
169 メンケス病	0								
170 オクシピタル・ホーン症候群	0								
171 ウィルソン病	1	1							
172 低ホスファターゼ症	0								
173 VATER症候群	0								
174 那須・ハコラ病	0								
175 ウィーバー症候群	0								
176 コフィン・ローリー症候群	0								
177 有馬症候群	0								
178 モワット・ウィルソン症候群	0								
179 ウィリアムズ症候群	0								
180 ATR-X症候群	0								
181 クルーゾン症候群	0								
182 アペール症候群	0								
183 ファイファー症候群	0								
184 アントレー・ビクスラー症候群	0								
185 コフィン・シリス症候群	0								
186 ロスマンド・トムソン症候群	0								
187 歌舞伎症候群	0								
188 多脾症候群	0								
189 無脾症候群	0								
190 鰓耳腎症候群	0								
191 ウェルナー症候群	0								
192 コケイン症候群	0								
193 プラダー・ウィリ症候群	2	2							
194 ソトス症候群	0								
195 ヌーナン症候群	0								
196 ヤング・シンプソン症候群	0								
197 1 p 3 6 欠失症候群	0								
198 4 p 欠失症候群	0								
199 5 p 欠失症候群	0								
200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0								
201 アンジェルマン症候群	0								
202 スミス・マギニス症候群	0								
203 22q11.2欠失症候群	0								
204 エマヌエル症候群	0								
205 脆弱X症候群関連疾患	0								
206 脆弱X症候群	0								
207 総動脈幹遺残症	0								
208 修正大血管転位症	1	1							
209 完全大血管転位症	0								
210 単心室症	1	1							
211 左心低形成症候群	0								
212 三尖弁閉鎖症	1	1							

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0								
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	1							
215 ファロー四徴症	0								
216 両大血管右室起始症	1	1							
217 エプスタイン病	0								
218 アルポート症候群	0								
219 ギャロウェイ・モワト症候群	0								
220 急速進行性糸球体腎炎	3	2							1
221 抗糸球体基底膜腎炎	0								
222 一次性ネフローゼ症候群	19	7	3		4	1	2	1	1
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0								
224 紫斑病性腎炎	1	1							
225 先天性腎性尿崩症	0								
226 間質性膀胱炎（ハンナ型）	0								
227 オスラー病	1	1							
228 閉塞性細気管支炎	0								
229 肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	1							
230 肺胞低換気症候群	0								
231 $\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0								
232 カーニー複合	0								
233 ウォルフラム症候群	0								
234 ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0								
235 副甲状腺機能低下症	0								
236 偽性副甲状腺機能低下症	0								
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0								
238 ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	0								
239 ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	0								
240 フェニルケトン尿症	0								
241 高チロシン血症1型	0								
242 高チロシン血症2型	0								
243 高チロシン血症3型	0								
244 メープルシロップ尿症	0								
245 プロピオン酸血症	0								
246 メチルマロン酸血症	0								
247 イソ吉草酸血症	0								
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0								
249 グルタル酸血症1型	0								
250 グルタル酸血症2型	0								
251 尿素サイクル異常症	0								
252 リジン尿性蛋白不耐症	0								
253 先天性葉酸吸収不全	0								
254 ポルフィリン症	0								
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0								
256 筋型糖原病	0								
257 肝型糖原病	0								
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0								

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
259 レシチンコレステロール アシルトランスフェラーゼ欠損症	0								
260 シトステロール血症	0								
261 タンジール病	0								
262 原発性高カイロミクロン血症	0								
263 脳腱黄色腫症	0								
264 無Bリポタンパク血症	0								
265 脂肪萎縮症	0								
266 家族性地中海熱	0								
267 高IgD症候群	0								
268 中條・西村症候群	0								
269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・ アクネ症候群	0								
270 慢性再発性多発性骨髄炎	0								
271 強直性脊椎炎	4	3			1				
272 進行性骨化性線維異形成症	1	1							
273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0								
274 骨形成不全症	0								
275 タナトフォリック骨異形成症	0								
276 軟骨無形成症	0								
277 リンパ管腫症／ゴーハム病	0								
278 巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0								
279 巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性 病変）	0								
280 巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病 変）	0								
281 クリップル・トレノネー・ウェーバー 症候群	1		1						
282 先天性赤血球形形成異常性貧血	0								
283 後天性赤芽球癆	2	1					1		
284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0								
285 ファンコニ貧血	0								
286 遺伝性鉄芽球性貧血	0								
287 エプスタイン症候群	0								
288 自己免疫性出血病 XIII	0								
289 クロンカイト・カナダ症候群	0								
290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0								
291 ヒルシュスプルング病（全結腸型又は 小腸型）	0								
292 総排泄腔外反症	0								
293 総排泄腔遺残	0								
294 先天性横隔膜ヘルニア	0								
295 乳幼児肝巨大血管腫	0								
296 胆道閉鎖症	1							1	
297 アラジール症候群	0								
298 遺伝性膵炎	0								
299 嚢胞性線維症	0								
300 IgG4関連疾患	7	6		1					

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
301 黄斑ジストロフィー	0								
302 レーベル遺伝性視神経症	1							1	
303 アッシャー症候群	0								
304 若年発症型両側性感音難聴	0								
305 遅発性内リンパ水腫	0								
306 好酸球性副鼻腔炎	1	1							
307 カナバン病	0								
308 進行性白質脳症	0								
309 進行性ミオクローヌステんかん	0								
310 先天異常症候群	0								
311 先天性三尖弁狭窄症	0								
312 先天性僧帽弁狭窄症	0								
313 先天性肺静脈狭窄症	0								
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0								
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群) ／LMX 1 B関連腎症	0								
316 カルニチン回路異常症	0								
317 三頭酵素欠損症	0								
318 シトリン欠損症	0								
319 セピアプテリン還元酵素 (SR) 欠損症	0								
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) 欠損症	0								
321 非ケトーシス型高グリシン血症	0								
322 β-ケトチオラーゼ欠損症	0								
323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0								
324 メチルグルタコン酸尿症	0								
325 遺伝性自己炎症疾患	0								
326 大理石骨病	0								
327 特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0								
328 前眼部形成異常	0								
329 無虹彩症	0								
330 先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0								

イ 平成 29 年度市町村別特定疾患医療受給者証交付数 (特定疾患治療研究事業)

(H30.3.31 現在)

	管内計	八戸市	おいらせ町	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
合 計	1	1	0	0	0	0	0	0	0
1 スモン	0								
2 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1	1							
3 重症急性膵炎	0								
4 プリオン病 (ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。)	0								
5 重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0								



(2) 難病患者地域支援対策推進事業

難病患者やその患者の抱える日常生活上の相談に対し、医師、理学療法士、保健師等による指導・助言及び保健師や看護師等の相談員を派遣する訪問相談を実施し在宅療養の推進を図った。また、三八地域難病対策地域協議会を設置し、地域における難病患者への支援体制に関する課題を共有し、地域の実情に応じた体制の整備等について協議を図った。

ア 医療相談実施状況

期 日	場 所	対象者	参加人員	内 容
H29.9.21	三戸地方 保健所	潰瘍性大腸炎患者及び家族	計 25 名 患者・家族 14 名 市町村 1 名 難病看護師 1 名 八戸市 2 名 事務局 7 名	講演 テーマ「潰瘍性大腸炎の食事療法について」 講 師 青森県栄養士会管理栄養士 川口朝子氏（はちのへ 99 クリニック）

イ 訪問相談

疾病名	訪問件数	
	訪問相談員	保健所保健師
筋萎縮性側索硬化症		7
パーキンソン病		3
多発性硬化症／視神経脊髄炎		1
脊髄小脳変性症		2
網膜色素変性症		1
その他	15	10

ウ 難病対策地域協議会

期 日	場 所	参加人員	内 容
H30.2.1	きざん八戸	計 33 名 委員 18 名、 代理出席 2 名 難病患者就職サポーター 1 名 八戸市 3 名 事務局 9 名	1. 報告事項 ①八戸市保健所の設置及び難病対策について 八戸市 金田委員（市保健所保健予防課長） ②圏域内の難病特定医療受給状況について 加賀谷健康増進課長 2. 情報提供 難病のある方々への就労支援の現状について 青森公共職業安定所 難病就職サポーター 高橋 牧子氏 3. 意見交換 難病の在る方々への就労支援について 4. その他

### (3) 難病相談

特定医療受給者証新規受給者を対象として、特定医療受給者証交付時に個別面接を行うとともに、電話及び来所の個別相談を実施した。

#### ア 特定医療受給者証新規交付時面接

相談 実人員	相談内容 (延数)								
	申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就労・就学	食事・栄養	歯科	その他	計
49	48	3	6	7	4	0	3	0	71

#### イ 随時相談

相談種別	相談件数
電話相談	12
来所相談	0

### (4) 組織育成、難病患者会活動支援

管内患者会は、八戸パーキンソン病友の会、みつばち会（全国膠原病友の会青森県支部）、青森SCD・MSA友の会八戸地域支部（平成27年4月から発足）の3団体で結成されている。

#### ア 八戸パーキンソン病友の会

期 日	場 所	対象者	内 容	参加人員
H29.5.18	野月会館	友の会会員	平成29年度定期総会	約20名
H29.8.22	八戸市福祉公民館		勉強会	約20名

#### イ みつばち会（全国膠原病友の会 青森県支部）

主催イベントの周知（2月）

・世界希少・難治性疾患の日イベントについて、対象疾患である悪性関節リウマチの特定医療受給者7名に通知を行った。

## 7 高齢者関係

### (1) 認知症地域連携促進事業（認知症地域連携懇談会の開催）

期 日	場 所	参加人員	内 容
H29.10.17	三戸地方保健所	25	1. 情報提供 「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の見直しについて」 三戸地方保健所 2. 情報交換 ①圏域内市町村の認知症施策の進捗状況 ②青森県オープン型認知症カフェ設置促進事業について ③認知症初期集中支援チームの実施状況について

### (2) 医療介護連携調整実証事業に係る入退院調整ルール作成

高齢福祉保険課・圏域内市町村と連携し、ケアマネジャー及び医療機関と協議の上、平成30年4月から運用する八戸地域保健医療圏域の入退院調整ルールを作成し、通知した。

日時	主体	項目	出席者数
H29. 4.24	高齢福祉保険課	高齢福祉保険課事業説明	7
		八戸市説明・協力依頼	9
H29. 4.28		八戸市医師会協力依頼	9
5~7月		医療機関協力依頼訪問（27病院） 延べ11日	
H29. 6.15		第1回市町村担当者会議	20
H29. 6.16		ケアマネアンケート市町村依頼	
H29.8	三戸地方保健所	ケアマネアンケート分析（403名分）	
H29. 9. 1		病院協議	59
H29. 9.25		第1回ケアマネ協議	149
H29.10.25		第2回ケアマネ協議（ケアマネ代表決定）	148
H29.11. 7		ケアマネ代表打ち合わせ会	31
H29.11.17		第1回病院ケアマネ協議	74
H29.12.11		病院意見照会	
H30. 1.19		第2回病院ケアマネ協議	73
H30. 2.28		第2回市町村担当者会議	16
H30. 3.23		八戸市医師会ルール完成報告	8
H30. 3.26		上十三医師会ルール完成報告（おいらせ町同行）	6
H30. 3.28		ルールの手引き発出	
		保健所HP掲載	

## 8 人材育成

### (1) 初任期保健師及び新任期保健師保健所研修

初任期保健師及び新任期保健師が、地域において生活者個人の視点を重視し、地域の健康課題を主体的に捉えた活動を展開できるように地域保健活動の根幹である個人・家族への支援について基本的な知識及び技術の習得を図ることを目的として実施した。

対象者：12人（1年目4人、2年目4人、3年目3人、4年目1人）

#### ○初任期保健師及び新任期保健師保健所研修実施状況

期 日	内 容 等	参加人員
H29.8.15	(※初任期保健師研修) 1 講義 (1)「三八地域保健医療圏の保健衛生の概況（管内の健康課題）と保健師活動について」 講師：三戸地方保健所 久保俊哉 次長 (2)「市町村保健師と保健所保健師の役割と連携について」 講師：三戸地方保健所健康増進課 加賀谷久子 課長 2 活動紹介 「児童相談所の役割と連携について」 講師：八戸児童相談所 小寺順司 次長	9人
	(※初任期保健師・新任期保健師合同研修) 1 講義「最新の公衆衛生動向と保健師に期待すること」 講師：三戸地方保健所 宮川隆美 所長 2 グループワーク「担当事業の計画について」 助言者：三戸地方保健所健康増進課 加賀谷久子 課長 3 講義及びグループワーク「各期の到達目標及び行動目標について」 講師：三戸地方保健所健康増進課 加賀谷久子 課長	
H29.9.7	(※地域保健関係者研修、母子保健ネットワーク会議併催) 1 講話及び演習「乳幼児の運動発達について」 講師：青森県立はまなす医療療育センター園長 盛島 利文 氏 2 講話及び意見交換「運動発達遅滞児への看護支援」 講師及び助言者：青森県立はまなす医療療育センター 看護師長 山田 康子 氏 3 施設見学 4 意見交換「療育の実際と連携の在り方について」 助言者：青森県立はまなす医療療育センター 看護師長 山田 康子 氏 三戸地方保健所 健康増進課 加賀谷久子 課長	4人 (他12人)
H29.12.2 5	(※初任期保健師・新任期保健師合同研修) 1 グループワーク（事例検討） 助言者：三戸地方保健所健康増進課長 2 研修伝達「ひきこもり精神保健福祉相談・支援の実践研修」 講師：三戸地方保健所健康増進課 工藤梓 技師 3 情報交換 4 施設見学及び講話「発達障害者・家族への相談支援の実状について」 助言者：県発達障害者支援センター「Doors」支援リーダー（相談支援担当） 社会福祉士 福田良恵 氏	8人
H30.3.5	(※初任期保健師・新任期保健師合同研修) 1 グループワーク（1）「担当事業の評価について」 2 講話「保健活動の評価と地域診断について」 講師：三戸地方保健所健康増進課 加賀谷久子 課長 3 グループワーク（2）「今年1年の振り返り」 4 次年度に向けて	8人

(2) 青森県保健所保健師等育成支援事業

新任保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域全体をみる能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的として実施した。

○トレーナー保健師活動状況 年 17 日（事業打合せ会、中間評価会、最終評価会含む）

日程		場所	内容
6月	12日(月)	三戸地方保健所	事業打合せ会
7月	13日(木)	田子町	家庭訪問(難病)
	19日(水)		家庭訪問(難病)
	21日(金)		家庭訪問(難病)
8月	21日(月)	田子町	家庭訪問(難病)
	28日(月)		家庭訪問(難病)
	29日(火)		家庭訪問(精神)
9月	11日(月)	田子町	家庭訪問(難病)
	22日(金)		家庭訪問(難病)
10月	27日(金)	三戸地方保健所	中間評価会
11月	20日(月)	田子町	特定健診結果説明会
	22日(水)		家庭訪問(難病)
12月	12日(火)	田子町	家庭訪問(難病)
1月	23日(火)	田子町	家庭訪問(難病)、健康教育打合せ
	25日(木)		デイ・ケア、健康教育
2月	13日(火)	三戸地方保健所	地域診断打合せ
	15日(木)		最終評価会
計 17日			打合わせ・評価会：4.5日、デイ・ケア：1日、結果説明会：1日、家庭訪問：10.5日(難病11件、精神1件、乳児1件)

(3) リーダー等保健師連絡会議

保健師活動のあり方や保健師の人材育成等についての情報交換や現状及び課題について検討を行い、保健師の資質向上及び連携強化を目指すために実施した。

○リーダー等保健師連絡会議実施状況

期 日	内 容 等	参加人員
H30.1.31	1 情報交換・意見交換 (1) 人材育成について (2) 子育て世代包括支援センターについて 2 情報提供 「大規模災害発生時の県健康福祉部の体制見直しについて」 情報提供者 青森県健康福祉部健康福祉政策課 主査 成家 昌治	21人
H30.3.8	1 演習「避難所運営ゲーム(HUG)」 2 講義「災害支援 ～最新の動向～」 講師 三戸地方保健所 保健医長 矢野 亮佑 3 情報交換・意見交換 「平時における災害への備え」	18人

(4) 医療技術者等研修

看護学生等が地域における保健・医療・福祉の理解を含め、公衆衛生活動の展開に必要な知識、技術、態度等を学ぶ。

①地域看護実習

施設名	期間	人数
弘前学院大学看護学部看護学科	平成29年6月6日～6月9日(4日間)	6人
青森県立保健大学健康科学部看護学科	平成29年7月11日～7月14日(4日間)	6人
計	8日間	12人

②管理栄養士課程履修の学生実習

回次	実習期間	施設名	学年	人数
1回目	H29. 6. 26～6. 30	青森県立保健大学	3年	3人
		仙台白百合女子大学	4年	2人
2回目	H29. 8. 28～9. 1	宮城学院女子大学	3年	3人
		郡山女子大学	3年	2人